

令和元年度決算に係る

定期監査資料

令和2年6月

西部総合事務所農林局

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	2 頁
5	主な事業に関する調べ	4 頁
6	収入証紙取扱額調べ	9 頁
7	現金の取扱状況	9 頁
8	財産に関する調べ	10 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付及び使用許可調べ	14 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	15 頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	15 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	15 頁
13	備品の処分状況調べ	15 頁
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	15 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
15	事業別予算執行状況調べ	18 頁
	(農林業振興課、地域整備課)	
16	用地取得の状況調べ	29 頁
17	登記の状況調べ	29 頁
18	林業改良指導活動状況調べ	29 頁
＜西部農業改良普及所に係る個別調書＞		
15	事業別予算執行状況調べ	32 頁
16	農業改良普及事業	34 頁
＜西部農業改良普及所大山普及支所に係る個別調書＞		
15	事業別予算執行状況調べ	46 頁
16	農業改良普及事業	47 頁
○	意見、要望等	なし

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

（令和2年4月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該 年度	31.4.1 現在	当該 年度	31.4.1 現在	当該 年度	31.4.1 現在	当該 年度	31.4.1 現在	
定員	4	4	58	59	0	0	62	63	
現員	5	5	57	(1) 58	0	0	62	(1) 63	(育児休業1)
過不足(△)	1	1	△1	△1	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	3	4	6	10	0	0	9	14	事務員(一般) 3 監視員 2 監督補助員 1 森林保全巡視指導員 2 土地改良財産譲与促進員 1

4 役付職員の調べ

(令和2年6月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
西部総合事務所農林局 局長	木嶋 哲人	年 1	月 2	
副局長 兼 農林業振興課長	(兼) 笠見 和昭	2	2	西部総合事務所地域振興局 農商工連携子一△ 参事 中山間地域振興子一△ 参事
農林業振興課 林業振興室長	須崎 雅之	2	2	
農林業振興課 課長補佐	大武 浩	0	2	
同	(兼) 岡山 裕志	2	2	西部総合事務所地域振興局 農商工連携子一△ 課長補佐 中山間地域振興子一△ 課長補佐 西部総合事務所福祉保健局 課長補佐 農業振興戦略監生産振興課 課長補佐
同	(兼) 石田 郁夫	0	2	農業振興戦略監生産振興課 課長補佐
同	保木本 二郎	0	2	
西部農業改良普及所 所長	笠原 宏人	2	2	
同 次長	(兼) 角脇 利彦	0	2	西部総合事務所地域振興局 農商工連携子一△ 課長補佐 中山間地域振興子一△ 課長補佐
同 普及主幹	瀬尾 哲則	3	2	
同	高濱 俊一	3	2	
同	(兼) 大浜 武志	1	2	農業振興戦略監生産振興課 課長補佐 (通算6年2月)
同	(兼) 那須 紀子	2	2	農業振興戦略監生産振興課 課長補佐 (通算5年2月)
同	足立 啓作	6	2	
西部農業改良普及所 大山普及支所 支所長	藤井 和則	2	2	(通算5年2月)
西部農業改良普及所 大山普及支所 普及主幹	(兼) 石倉 満	4	2	農業振興戦略監生産振興課 課長補佐
同	(兼) 中川 翠	0	2	西部総合事務所地域振興局 中山間地域振興子一△ 課長補佐 (通算4年2月)
同	西村 光博	2	2	
同	(兼) 久重 祐彦	0	2	西部総合事務所地域振興局 農商工連携子一△ 課長補佐
地域整備課 課長	山本 勇次	0	2	

地域整備課 参事	足立 誠	0	2	(通算2年2月)
地域整備課 課長補佐	(兼) 日野 浩二	3	2	米子工事検査事務所 課長補佐
同	嘉田 伸久	2	2	
同	長谷 徳明	1	2	
同	(兼) 土井 嘉明	2	2	米子工事検査事務所 課長補佐
同	石河 治	2	2	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取県親元就農促進支援交付金事業 (農林業振興課経営支援担当)	9,867	-	-	9,867
鳥取元気プロジェクト	(2) 産業を元気に 元気な産業に向けて農業活力増進プランを実行			
元気づくり総合戦略	豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる ～鳥取+ism～ (2) 農林水産業 (1) 将来を担う若き担い手の活躍			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・ IJUターン者など新規参入者に対する就農支援施策（経営開始直後の資金交付事業や就農初期に必要な機械・施設の整備費助成事業等）は充実しているが、親元で就農する後継者（以下「親元就農者」という。）については、これら事業の対象とならなかった。
- ・ しかし、親元就農者が農業技術・知識等を習得するには一定の期間が必要であり、また、経営に参画してもすぐには収入増が見込めないため、親元就農者に対する支援策として、平成26年度に本事業が創設され、以降、地域農業の担い手としての定着を支援している。

(イ) 事業の実施状況

- ・ 認定農業者等の後継者が親の経営に従事（親元就農）しながら親元で行う研修に対して助成を行った。
[交付額] 10万円/月（最長2年間） [補助率] 県2/3、市町村1/3
- ・ 新規事業活用希望者に対して市町村・普及所と連携し、相談への対応や計画作成支援を行った。

市町村名	H29年度			H30年度			R元年度					
	件数 新規	事業費 (千円)	県費 (千円)	件数 新規	事業費 (千円)	県費 (千円)	件数 新規	事業費 (千円)	県費 (千円)			
										米子市	0	0
境港市	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1,800	1,200
日吉津村	1	1	600	400	1	0	1,200	800	1	0	600	400
大山町	13	3	12,600	8,400	15	3	10,800	7,200	10	4	9,400	6,267
南部町	1	0	1,000	667	0	0	0	0	0	0	0	0
伯耆町	0	0	0	0	1	1	1,200	800	2	1	1,800	1,200
計	15	4	14,200	9,467	17	4	13,200	8,800	16	8	14,800	9,867

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ 親元就農者の確保にむけて本事業の周知を図るため、JA鳥取西部の協力を得て広報誌に事業紹介記事を掲載するとともに、普及所が生産部指導会等で事業紹介を行った。

ウ 成果及び効果

- ・ 親の経営基盤を活用し、親の指導を受けながら農業従事する親元就農は、安定した就農を図ることが出来ることから、新規就農者の確保に有効である。
- ・ 事業創設以降6年間で38経営体が事業活用し、親元就農者の確保・育成に大きく寄与している。
- ・ これまでは、事業活用者数が大山町に偏っていたが、令和元年度は大山町以外の事業活用が増加した。

年度		H26	H27	H28	H29	H30	R元	計
新規事業 活用者数	西部農林局管内	6	7	9	4	4	8	38
	うち大山町	6	4	9	3	3	4	29
	県全体	25	18	24	12	14	27	120

エ 課題

- ・ さらなる親元就農者の確保に向けて、関係機関と産地が連携して新規就農者の受入れや就農後の支援体制を整備し、産地自ら担い手の確保に乗り出す取組を推進する必要がある。

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳																	
		国庫支出金	その他	一般財源															
みんなで取り組む山間地きのこ生産モデル事業	2,014	1,007		1,007															
鳥取元気プロジェクト																			
元気づくり総合戦略																			
(概要)																			
ア 目的及び事業の実施状況																			
(ア) 目的																			
<ul style="list-style-type: none"> 山間集落の営農組織を椎茸栽培の新たな担い手として位置づけ、農閑期を活用し原木椎茸生産に新規参入するモデル的な取組みを支援することで、椎茸増産の加速化を図り、併せて山間地域の集落の活性化を推進することを目的とする。 																			
(イ) 事業の実施状況																			
<ul style="list-style-type: none"> 稲作中心の経営を行っている農事組合法人が行う椎茸生産施設整備に対し南部町を通して補助金を交付した。 																			
実施主体 農事組合法人やまとだに (南部町 ^{やまとだに} 山田谷地区)																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>事業量</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低コストハウス</td> <td>1棟</td> <td>2,861</td> </tr> <tr> <td>人工ほだ場</td> <td>2棟</td> <td>760</td> </tr> <tr> <td>椎茸スライサー</td> <td>1台</td> <td>408</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>4,029</td> </tr> </tbody> </table>					施設名	事業量	事業費(千円)	低コストハウス	1棟	2,861	人工ほだ場	2棟	760	椎茸スライサー	1台	408	計		4,029
施設名	事業量	事業費(千円)																	
低コストハウス	1棟	2,861																	
人工ほだ場	2棟	760																	
椎茸スライサー	1台	408																	
計		4,029																	
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点																			
<ul style="list-style-type: none"> 事業初年度であり、特になし。 																			
ウ 成果及び効果																			
<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり施設が導入され、椎茸の植菌が開始された。 																			
エ 課題																			
<ul style="list-style-type: none"> 本事業と並行し、生産者の技術指導を行う必要がある。 2年間の事業であり引き続き適切な事業遂行を指導する必要がある。 																			

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
農業改良普及事業(西部農業改良普及所) 「白ねぎ作業改善の推進」	-	-	-	-

鳥取元気プロジェクト

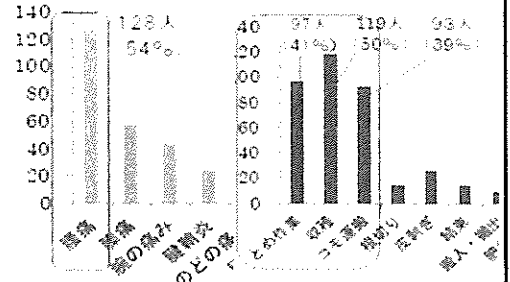
元気づくり総合戦略

ア 目的及び事業の実施状況

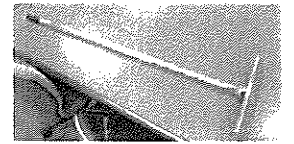
(ア) 目的

・鳥取県西部の白ねぎ産地では、高齢な生産者だけでなく若手農業者からも、腰痛をはじめとする疾病があるという声が多く、身体負担が少ない作業体系の確立が求められている。

・平成29年度の調査の結果、部位別の痛みでは腰痛が54%と最も多く(図1)、また負担となる作業は、とめ(白ねぎの株元に土を寄せてとめる)、収穫、運搬作業が、生産者全体の半数近くを占めている事が分かった(図2)。そこで、鳥取大学医学部と連携して「白ねぎ作業改善プロジェクトチーム」を設置し、身体面での腰痛対策と各作業についての具体的な改善策を検討した。



(図1) 痛みのある部位 (図2) 身体負担を感じる作業



(写真1) 改良とめ農具

(イ) 事業の実施状況

①負担の大きな作業(とめ、収穫、運搬)の負担軽減に向けた対策案の開発・検証

<とめ農具の改良>

・とめ農具の改良品の試作と農家への試行実施を行い、さらに改良を加えた(写真1)。

<収穫作業の改善の検証>

- ・手掘り：負担の少ない作業姿勢モデル3つを農家とともに検討し、筋電計を用いて腰部にかかる負荷を比較し、それぞれの腰部負担軽減効果を検証した。
- ・収穫機：作業中の中腰姿勢改善のための「高さ調整作業台」の効果確認を行った。また、負担の大きい株元の土落とし作業改善に、「土落とし装置設置」の試作を行った。

<運搬作業の改善>

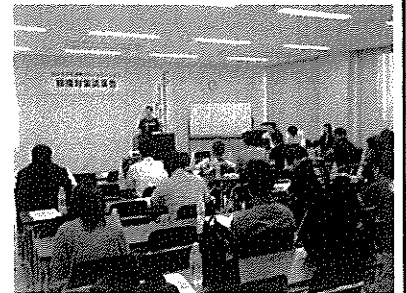
・白ネギを包んだコモ(15~20kg)を持ち上げる重量物運搬作業の改善策として、持ち上げる必要のないブロッコリー運搬台車を利用した方法を検討した。

②身体的側面における腰痛対策の検討と周知(鳥取大学医学部との連携)

・腰痛対策講演会(参加者11名)(写真2)、腰痛対策セミナー(参加者33名)、白ねぎ収穫機改良実演会(参加者17名を開催した。また、各会合等で対策の周知、動機づけを図った。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

・前年度までは実態調査が中心であったが、令和元年度はその調査結果をもとに、具体的な改善策の検討を農家と共に行うとともに、腰痛セミナーなどにより生産者への周知を図った。



(写真2) 腰痛対策講演会の様子

ウ 成果及び効果

・負担の大きな作業の軽労化、効率化につながる対策案が5つ開発できた。

- <とめ>①既存の農具を改良し試作器を作成
- <収穫>②負担の少ない作業姿勢のモデル案作成
- ③白ねぎ収穫機の高さ調整作業台の開発
- ④白ねぎ収穫機の土落とし装置の開発

<運搬>⑤ブロッコリー運搬台車を白ねぎ収穫物の運搬に利用した改善

・これらの対策案について、③、④の収穫機の改良を導入する農家が1戸、⑤の運搬台車を導入する農家が1戸できた。

・腰痛対策セミナー等は概ね良い感想が聞かれ、その後体操を実践している人もある。

エ 課題

・作業の軽労化、効率化の対策については、土質の違う各地区の圃場での効果確認や詳細な検証が必要である。また、腰痛対策は、さらに幅広く普及するための方法を検討する必要がある。(動画の作成や各指導会での体操の実演指導など)

5 主な事業に関する調べ

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
大山ブロッコリーの持続的な産地発展に向けた取組支援	-	-	-	-
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<p>大山ブロッコリー(平成24年に地域団体商標登録、平成30年にGI登録)は、平成27年には販売額14億円と過去最高を記録した。しかし、平成28年の台風による大雨、さらに平成29年には突発した黒すす病の多発によって秋冬作は2年連続して生育不良(平均反収95ケース/6kg)となり、販売額は10億円台まで落ち込んだ。このことから大山町ではがんばる地域プランを策定し、生産部、JA、行政機関が一体となって災害に強い産地づくり(排水対策、黒すす病対策)とともに、ブランド力強化を進めている。</p>				
(イ) 事業の実施状況				
①排水対策の意識向上と取組推進				
<ul style="list-style-type: none"> ・反収向上のため、表面排水、耕盤破碎の重要性を講習会(5月)で説明し、特に水田での実施推進を行った。 ・JA圃場管理台帳をもとにR元年度秋冬どり作型における排水対策実施状況の実態把握を行った。 ・これまでの調査研究成果等をまとめた『排水対策の手引き』を作成し、全生産者に配布、説明して排水対策の啓発を行った(11月講習会)。 				
②難防除病害(黒すす病等)の早期克服				
<ul style="list-style-type: none"> ・試験場等と連携し、作柄反省を踏まえて予防効果の高い防除基準に改訂し(5、9月)、予防防除の徹底を指導した。 ・講習会で重点防除時期における予防防除の徹底を指導した(5、11月)。また黒すす病が発生しやすい条件となる大雨が予想される際には、事前の予防防除、排水対策の徹底を呼びかけた(8月技術情報の発出)。 				
③JGAPを活用した大山ブロッコリーのブランド力強化				
<ul style="list-style-type: none"> ・大山ブロッコリー版のJGAP『適合基準と管理点』を作成し、JGAP志向農家に対する説明会を開催した(4月)。 ・JAとともにJGAP認証に向けた取組状況を確認、指導した。また、JGAPマークの表示および東京オリパラ食材供給等に係る関係者協議を行い、販売機会に係る助言を行った。 				
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
特になし。				
ウ 成果及び効果				
(ア) 排水対策の意識向上と取組推進				
<ul style="list-style-type: none"> ・防災および減災の意識が高まり、全農家の42.7%が排水対策を実施した結果、9~1月出荷量が前年比16%向上し、湿害を回避できた。 ・本年度の耕盤破碎(バイプロソイラ)委託施工希望量は農家7戸、農地8筆、面積1.8ha(H30年度実績:15戸、42筆、8.2ha)となり、うち新規2戸となった。 				
(イ) 難防除病害(黒すす病等)の早期克服				
<ul style="list-style-type: none"> ・初夏作で実害に至らなかったが、秋冬作では出荷初期(10月)の品種で一部発生が見られ、細菌病(花蕾腐敗病)との併発事例が散見された。 				
(ウ) 大山ブロッコリーのブランド力強化				
<ul style="list-style-type: none"> ・3農場がJGAP認証された。さらに、JGAPマークを令和2年より表示し販売されることとなった。 				
(エ) 令和元年産の販売金額と反収				
<ul style="list-style-type: none"> ・事業取組の結果、販売金額12.1億円(前年比110%)、反収150ケース(前年比123%)を達成した。 				
エ 課題				
排水対策未実施農家への取り組みを推進する。また、黒すす病の予防防除と併せて細菌病(花蕾腐敗病)の予防防除徹底を働きかける必要がある。				

排水対策実施率(R1産秋冬、単位:%)

	農家	圃場	田	畑
大山町	42.7	31.2	37.4	21.9
大山地区	51.6	40.4	43.6	26.1
名和地区	30.8	42.4	50.5	34.5
中山地区	43.3	23.8	30.5	14.5

大山ブロッコリーの生産・販売の推移(鳥取西部農協ブロッコリー部会)

	H27	H28	H29	H30	R元
販売額(億円)	14.03	10.87	10.45	11.08	12.19
出荷量(万ケース)	68.7	45.9	45.8	57.5	66.6
反収(ケース/10a)	147	98	95	123	150

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
地域ため池総合整備事業【地域整備課】	23,066	12,686	10,322	58

鳥取元気プロジェクト
元気づくり総合戦略

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

近年、大規模地震や異常気象ともいえる集中豪雨が頻発し、農地や農業水利施設だけではなく地域住民の生命や財産及び公共施設へも甚大な被害を及んでおり、効果的な防災・減災対策を講じる必要がある。

そのためには、農業用施設の整備状況や利用状況を把握し、地域の実情に即した総合的な整備により農村地域における防災力の向上を図ることが重要であり、自然的・社会的要因により生じたため池の機能の回復や災害の未然防止を図るための整備及びため池の監視・管理体制の強化、ハザードマップの作成による地域防災力の向上等ソフト事業により総合的な対策を実施する。

(イ) 事業の実施状況

①改修整備の優先度が高いため池

管内市町村	農業用ため池	防災重点ため池	実施地区		備考
			改修工事	ハザードマップ	
南部町	215	52	1	6	
伯耆町	72	11		3	
大山町	73	20		10	
日南町	136	5		0	
日野町	38	4		1	
江府町	2	0		-	
管内合計	606	131	3	24	

②R1年度中に実施中の地域ため池総合整備事業

地区名	所在地	受益面積	事業内容	備考
浅井	南部町浅井	8.3ha	ため池改修 一式	
古市	米子市吉谷	10.5ha	ため池改修 一式	

③今後事業化予定のため池

市町村	ため池数	主なため池	備考
米子市	1	陰田ため池	

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

特になし

ウ 成果及び効果

- ・令和元年度は、浅井ため池（南部町）古市ため池（米子市）の実施設計を行い、それぞれ令和2年度から工事着手を予定。
- ・管内の防災重点ため池のうち24箇所のハザードマップを作成。ワークショップの実施により避難場所、避難経路等災害時の避難行動を具体化し地域防災力の向上が図られた。

エ 課題

平成30年7月豪雨により農業用ため池に甚大な被害が発生し、これにより防災重点ため池の指定基準が見直された。管内市町でも新基準により防災ため池を見直し、33箇所から131箇所に増加した。

財政状況によりため池改修が進まない市町もあり、ハザードマップの作成が急務である。西部で最多のため池数の南部町を中心にハザードマップ作成を推進する必要がある。

6 収入証紙取扱額調べ

該当なし

7 現金の取扱状況

該当なし

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
行政財産	大淀地区畑地帯総合整備事業	米子市淀江町	292.85	-	増加	R-				R-	292.85	-	
					減少	R-				R-			
	五千石地区ほ場整備事業	米子市	2,465.97	-	増加	R-				R-	2,465.97	-	
					減少	R-				R-			
	箕敷屋地区用水改良事業	米子市・伯耆町・日吉津村	116,757.91	-	増加	R-				R-	116,757.91	-	
					減少	R-				R-			
	角盤新良路間こじん建設付帯事業	米子市尾高	3,471.07	-	増加	R-				R-	3,471.07	-	
					減少	R-				R-			
	箕敷屋地区ほ場整備事業	米子市淀江町	2,166.18	-	増加	R-				R-	2,166.18	-	
					減少	R-				R-			
	箕敷屋2期地区ほ場整備事業	米子市淀江町	376.36	-	増加	R-				R-	376.36	-	
					減少	R-				R-			
	淀江宇田川地区ほ場整備事業	米子市淀江町	2,217.20	-	増加	R-				R-	2,217.20	-	
					減少	R-				R-			
	大沢川被災家屋等復興特別対策事業(S30~39大沢排水改良事業)	米子市	10.95	-	増加	R-				R-	10.95	-	
					減少	R-				R-			
	深田川排水改良事業(中浜村外1町3ヶ村)	境港市	8,244.95	-	増加	R-				R-	8,244.95	-	
					減少	R-				R-			
	深田川地区排水特別事業	境港市	5,940.06	-	増加	R-				R-	5,940.06	-	
					減少	R-				R-			
	金見地区土地改良総合整備事業	西伯郡南部町	125.95	-	増加	R-				R-	125.95	-	
					減少	R-				R-			
	馬場地区ため池等整備事業	西伯郡南部町	222.00	-	増加	R-				R-	222.00	-	
					減少	R-				R-			
	大山地区(下榎原工区)間こじん建設付帯事業	西伯郡伯耆町	591.74	-	増加	R-				R-	591.74	-	
					減少	R-				R-			
	佐野川地区かんがい排水事業	西伯郡伯耆町	9,428.50	-	増加	R-				R-	9,428.50	-	
					減少	R-				R-			
	五千石井手地区かんがい排水事業	西伯郡伯耆町	22.30	-	増加	R-				R-	22.30	-	
					減少	R-				R-			
	中山2期地区畑地帯総合整備事業	西伯郡大山町	11,539.68	-	増加	R-				R-	11,539.68	-	
					減少	R-				R-			
	中山地区畑地帯総合整備事業	西伯郡大山町	581.28	-	増加	R-				R-	581.28	-	
減少					R-				R-				
大山地区(榎原工区)間こじん建設付帯事業	西伯郡大山町	1,623.14	-	増加	R-				R-	1,623.14	-		
				減少	R-				R-				
大山地区(二本松工区)間こじん建設付帯事業	西伯郡大山町	5,170.24	-	増加	R-				R-	0.00	-		
				減少	R1.10.9	5,170.24	-	用途廃止	R-				
大山地区(萩原工区)間こじん建設付帯事業	西伯郡大山町	1,299.17	-	増加	R-				R-	0.00	-		
				減少	R1.10.9	1,299.17	-	用途廃止	R-				
上中山第2地区開拓整備事業	西伯郡大山町	650.00	-	増加	R-				R-	650.00	-		
				減少	R-				R-				
庄内村外3ヶ村用水改良事業	西伯郡大山町	390.08	-	増加	R-				R-	390.08	-		
				減少	R-				R-				
大山地区(下大山工区)間こじん建設付帯事業	西伯郡大山町	102.47	-	増加	R-				R-	102.47	-		
				減少	R-				R-				
大山地区(光徳工区)間こじん建設付帯事業	西伯郡大山町	1,252.89	-	増加	R-				R-	1,252.89	-		
				減少	R-				R-				
大山地区(庄内門前工区)間こじん建設付帯事業	西伯郡大山町	413.22	-	増加	R-				R-	413.22	-		
				減少	R-				R-				
大山地区(神田工区)間こじん建設付帯事業	西伯郡大山町	3,460.00	-	増加	R-				R-	0.00	-		
				減少	R1.10.9	3,460.00	-	用途廃止	R-				
大山地区(逢坂工区)間こじん建設付帯事業	西伯郡大山町	6,173.55	-	増加	R-				R-	6,173.55	-		
				減少	R-				R-				
大山地区(大郡工区)間こじん建設付帯事業	西伯郡大山町	710.00	-	増加	R-				R-	0.00	-		
				減少	R1.10.9	710.00	-	用途廃止	R-				

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考		
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)			
行政財産	名和地区ほ場整備事業	西伯郡大山町	472.04	-	増加	R	-				R	-	472.04	-	
					減少	R	-				R	-			
	原地区ため池災害復旧 運待別対策事業	西伯郡大山町	60.90	-	増加	R	-				R	-	60.90	-	
					減少	R	-				R	-			
	大山北部土地改良 総合整備事業	西伯郡大山町	899.05	-	増加	R	-				R	-	899.05	-	
					減少	R	-				R	-			
	庄内地区ほ場整備 事業	西伯郡大山町	105.00	-	増加	R	-				R	-	105.00	-	
					減少	R	-				R	-			
	江尾・宮市地区ほ場 整備事業	日野郡江府町	4,594.80	-	増加	R	-				R	-	4,594.80	-	
					減少	R	-				R	-			
	美用地区担い手育 成基金整備事業	日野郡江府町	2,192.64	-	増加	R	-				R	-	2,192.64	-	
					減少	R	-				R	-			
	江府地区農村災害 対策事業用地	日野郡江府町大字貝 田字上小林675-3	23.43	-	増加	R	-				R	-	23.43	-	
					減少	R	-				R	-			
	中山3期地区畑地総 合整備事業	西伯郡大山町羽田井 字退休寺原1418-876	1,975.63	-	増加	R	-				R	-	1,975.63	-	
					減少	R	-				R	-			
	名和3期地区畑地帯 総合整備事業	西伯郡大山町長野中 弓ノ木880-4	418.27	-	増加	R	-				R	-	418.27	-	
					減少	R	-				R	-			
	県営農村災害対策 整備事業	日野郡江府町小江尾	32.46	-	増加	R	-				R	-	32.46	-	
					減少	R	-				R	-			
春日地区農免農道	米子市古堂千	13.96	-	増加	R	-				R	-	13.96	-		
				減少	R	-				R	-				
淀江地区農免農道	米子市淀江町	27,030.54	-	増加	R	-				R	-	27,030.54	-		
				減少	R	-				R	-				
大山地区広域農道	西伯郡大山町	410,352.78	-	増加	R	-				R	-	410,352.78	-		
				減少	R	-				R	-				
西伯地区広域農道	西伯郡伯耆町・南部 町	132,267.36	-	増加	R	-				R	-	132,267.36	-		
				減少	R	-				R	-				
淀江2期地区農免農 道	米子市淀江町	39,226.63	-	増加	R	-				R	-	39,226.63	-		
				減少	R	-				R	-				
奥日野地区広域農 道	日野郡日南町	538,738.68	-	増加	R	-				R	-	538,738.68	-		
				減少	R	-				R	-				
西伯地区ふるさと農 道緊急整備事業(広 域型)	西伯郡伯耆町	185.00	-	増加	R	-				R	-	185.00	-		
				減少	R	-				R	-				
奥日野地区ふるさと 農道緊急整備事業 (広域型)	日野郡日南町	12,804.63	-	増加	R	-				R	-	12,804.63	-		
				減少	R	-				R	-				
淀江地区3期地区農 免農道	米子市淀江町	82,101.33	-	増加	R	-				R	-	82,101.33	-		
				減少	R	-				R	-				
計			1,439,194.84	-			10,639.41	0.00				1,428,555.43	-		
普通財産	彦名干拓地暫定調 整池跡地及び東側 堤防	米子市	7,280.62	-	増加	R	-				R	-	7,280.62	-	貸付
					減少	R	-				R	-			
	名和地区畑地帯総 合整備事業	西伯郡大山町門前	10,441.95	-	増加	R	-				R	-	10,441.95	-	
					減少	R	-				R	-			
	大山地区(二本松工 区)開かん建設付帯 事業	西伯郡大山町	0.00	-	増加	R1.10.9		5,170.24	-	分類換	R	-	5,170.24	-	
					減少	R	-				R	-			
	大山地区(萩原工 区)開かん建設付帯 事業	西伯郡大山町	0.00	-	増加	R1.10.9		1,299.17	-	分類換	R	-	1,299.17	-	
					減少	R	-				R	-			
大山地区(神田工 区)開かん建設付帯 事業	西伯郡大山町	0.00	-	増加	R1.10.9		3,460.00	-	分類換	R	-	3,460.00	-		
				減少	R	-				R	-				
大山地区(大都工 区)開かん建設付帯 事業	西伯郡大山町	0.00	-	増加	R1.10.9		710.00	-	分類換	R	-	710.00	-		
				減少	R	-				R	-				
計			17,722.57	-			10,639.41					28,361.98	-		
合計			1,456,917.41	-			0.00	0.00				1,456,917.41	-		

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通 財産の区 分	機関又は 施設名等	所 在 地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備 考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額 (円)	増減理 由	登 記 年月日	面積 (m ²)		価額(円)
行政財産	大山農業改良普及 所(事務所)	大山町所子541-8	290.31	88,991,700	増加	H -				H -	290.31	88,991,700	
					減少	H -				H -			
	大山農業改良普及 所(田植機庫)	大山町所子541-8	22.50	3,189,900	増加	H -				H -	22.50	3,189,900	
					減少	H -				H -			
計			312.81	92,181,600			-	-		312.81	92,181,600		
普通財産	-	-	-	-	増加	H -				H -	-	-	
					減少	H -				H -			
計			-	-			-	-		-	-		
合計			312.81	92,181,600			-	-		312.81	92,181,600		

ウ 山林 該当なし

エ 不動産 該当なし

オ 物権

(令和2年3月31日現在)

区 分	前年度末(m ²)	本年度中(m ²)		本年度末(m ²)	登記又は 登録年月日	備 考
		増	減			
地上権	4,174.96	0.00	0.00	4,174.96	H13.6.25～ H20.1.8	S30～39大 沢川排水改 良事業
	79.00	0.00	0.00	79.00	H28.2.9、H29.1.16	中山3期地 区農業競争 力強化基盤 整備事業
	210.66	0.00	0.00	210.66	H28.9.12～ H29.1.5	名和3期地 区農業競争 力強化基盤 整備事業
	53.77	0.00	0.00	53.77	H29.4.27	中山3期地 区農業競争 力強化基盤 整備事業
	124.85	0.00	0.00	124.85	H30.7.24、H30.10.18	名和3期地 区農業競争 力強化基盤 整備事業
合 計	4,643.24	0.00	0.00	4,643.24		

カ 無体財産権 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況 該当なし

(令和2年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はが き	円 20,961	円 0	円 0	円 20,961	大山菅及支所
収入印紙	53,800	0	0	53,800	
収入証紙				0	
タクシークーポン券				0	
鉄道バスプリペイドカード				0	
合 計	74,761	0	0	74,761	

イ タクシーチケットの保有状況 該当なし

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	電気通信設備設置のため	西伯郡大山町下甲1041-521	電柱1本	H27.1.15	H22.11.15	H27.4.1~H32.3.31	月額・年額 180	180	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	文書ID 14-00139962
	電力供給配電線支持物設置のため	西伯郡大山町羽田井1418-443・448・219	共架柱3本 支線2条	H28.2.18	H23.11.25	H28.4.1~H33.3.31	月額・年額 900	900	米子市加茂町2丁目51 中国電力(株)米子営業所	文書ID 18-00001793
	電気通信設備設置のため	西伯郡大山町羽田井1418-1759・1764・1749-1748	電柱4本	H28.2.9	H23.11.28	H28.4.1~H33.3.31	月額・年額 720	720	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	文書ID 18-00001793
	電気通信設備設置のため	西伯郡大山町羽田井字鞆園地内	電柱5本	H29.1.30	H24.11.21	H29.4.1~H34.3.31	月額・年額 900	900	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	文書ID 18-00001793
	電力供給配電線支持物設置のため	西伯郡大山町羽田井1418-1795	電柱1本	H29.2.10	H24.11.28	H29.4.1~H34.3.31	月額・年額 180	180	米子市加茂町2丁目51 中国電力(株)米子営業所	文書ID 18-00001793
	地籍図根三角点設置のため	西伯郡大山町羽田井1418-1851	図根三角点1本	H26.7.31	H26.7.31	H31.4.1~R6.3.31	月額・年額 免除	免除	西伯郡大山町御来屋328 大山町長	文書ID 18-00344686
	電力供給配電線支持物設置のため	西伯郡大山町下甲1041-657、521	電柱1本 支線1条	H26.12.9	H26.12.9	H31.4.1~R6.3.31	月額・年額 360	360	米子市加茂町2丁目51 中国電力(株)米子営業所	文書ID 18-00316366
	電気通信設備設置のため	米子市赤井手153-2、154-1	電柱2本	H28.3.16	H28.3.16	H28.3.16~H32.3.31	月額・年額 360	360	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	文書ID 18-00001793
	電気設備設置のため	米子市赤井手153-2、154-1	電柱2本 (共架設備)	H28.3.16	H28.3.16	H28.3.16~H32.3.31	月額・年額 3,000	3,000	米子市加茂町2丁目51 中国電力(株)米子営業所	文書ID 18-00001793
	電気通信設備設置のため	西伯郡大山町羽田井1048-448	電柱3本 (共架設備)	H29.3.10	H29.3.10	H29.3.10~H33.3.31	月額・年額 4,500	4,500	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	文書ID 18-00001793
電気通信設備設置のため	西伯郡大山町羽田井1048-1795	電柱1本 (共架設備)	H29.3.10	H29.3.10	H29.3.10~H33.3.31	月額・年額 1,500	1,500	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	文書ID 18-00001793	
電気通信設備設置のため	西伯郡大山町羽田井1041-657	電柱1本 (共架設備)	H29.3.10	H29.3.10	H31.4.1~R6.3.31	月額・年額 1,500	1,500	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	文書ID 18-00287682	
計							14,100			
普通財産	米子水鳥公園と農地との緩衝帯・駐車場として使用するため	米子市彦名新田664及び東側盛土	土地7,280.62㎡ 盛土 高さ2.8m・延長348m	H25.4.1	H24.4.1	H25.4.1~H35.3.31	月額・年額 35,820	35,820	米子市加茂町1丁目1 米子市長	文書ID 18-00002552
計							35,820			
合計							49,920			

イ 建物

該当なし

1 0 借受不動産明細調べ

該当なし

1 1 職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

1 2 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

1 3 備品の処分状況調べ

該当なし

1 4 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

有 ・ 無

物品損傷報告データベースにより報告済。(公用車一部損傷2件)

(2) 物品の照合

有 ・ 無

物品照合データベースにより実施。(令和元年7月24日～8月21日確認済)

農林業振興課

(生産・経営・林業)

1.5 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名 農業総務費		(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課生産流通担当)	事業の概要(目的、実績等)	
がんばる農家プラン事業	農業者等が作成したプランを実現するために必要な事業に対して、市町村が助成を行う場合に、要する経費を助成した。(農業者等がプランを実現するための支援: 機械、施設導入18件)	
中山間地域を支える水田農業支援事業	中山間地域で水田農業を支える農業者育成や地域の水田農業の維持・発展を図ることを目的とする事業に対して、市町村が助成を行う場合に、要する経費を助成した。(米子市: 2件、伯耆町: 1件 計3件)	
もうかる6次化・農商工連携支援事業	農業者等が作成した6次産業化のプランを実現するために必要な事業に対して、市町村が助成を行う場合に要する経費を助成した。(米子市: 1件、南部町: 1件、伯耆町: 1件 計3件)	

目 名 農作物対策費		(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課生産流通担当)	事業の概要(目的、実績等)	
鳥獣被害防止総合対策交付金	野生鳥獣による農林被害を防止することを目的とし、侵入防止柵や捕獲機材の整備等にかかわる経費を助成した。(米子市、大山町、南部町、伯耆町)	
鳥獣被害総合対策事業	野生鳥獣による農産物への被害を防止することを目的に、侵入防止柵の整備、捕獲にかかわる経費を助成した。(米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町)	
鳥取県有機・特別栽培農産物支援事業	有機農産物及び特別栽培農産物の生産振興を図るため生産、販売等を積極的に取り組む実践農家に対して機械導入に係る経費を助成した。(大山町)	
鳥取梨生産振興事業	鳥取県育成オリジナル梨(新品種)等の導入について、苗木や基盤整備に係る経費に対して助成した。(米子市、大山町、南部町)	
鳥取柿ぶどう等生産振興事業	富有柿をはじめとした果樹の優良品種の導入について、苗木や基盤整備に係る経費に対して助成した。(米子市)	
戦略的園芸品目(白ネギ)総合対策事業	白ネギの産地づくりを加速化させることを目的に、弓浜地区のネギ黒腐菌核病の防除対策、展示ほの設置、機械の導入に係る経費を助成した。17件 (米子市3件、境港市3件、日吉津村1件、大山町4件、南部町1件、伯耆町4件、JA鳥取西部1件)	
園芸産地活力増進事業	JAの果実選果場の機能向上、園芸品目生産拡大に必要な機械・資材の導入に係る経費に対して助成した。3件(米子市1件、大山町1件、日吉津村1件)	
とっとり芝生産振興事業	芝の面積拡大を図ることを目的とし、芝生産拡大に必要な機械の導入等に係る経費を助成した。(米子市1件)	
鳥取野菜産地強化対策事業(繰越明許)	プロッコリー産地の生産拡大・収益力強化を目的に、機械導入に係る経費について助成した。(大山町1件)	

目 名 家畜保健衛生費		(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課生産流通担当)	事業の概要(目的、実績等)	
豚コレラ緊急対策事業	豚コレラ防疫対策の一環として、イノシシ捕獲圧を緊急的に高める必要があることから、狩猟期間におけるイノシシの捕獲奨励金を交付した。 (米子市、大山町、南部町、伯耆町)	

1 5 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名		農業総務費	(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課経営支援担当)		事業の概要(目的、実績等)	
新規就農者総合支援事業		<p>新規就農者の確保・育成のため、就農希望者が円滑に就農できるよう就農相談や諸計画策定等の支援を行うとともに、就農初期の生産基盤整備等営農に必要な経費を支援し、新規就農者のニーズにあわせた段階的な支援を行った。</p> <p>◆就農条件整備事業 新規参入者(認定就農者等)が就農する際、機械、施設の整備の支援(5市町23件)を行った。</p> <p>◆就農応援交付金 新規参入者(認定就農者等)が就農する際、用途を定めない運転資金の支援(2市町5名)を行った。</p> <p>◆親元就農促進交付金 認定農業者等の後継者が親(3親等以内の親族を含む)の経営に従事しながら、親元で研修を行う場合に研修助成(5市町村16名)を行った。</p> <p>※「5 主な事業に関する調べに記載」</p>	
鳥取県集落営農体制強化支援事業		<p>◆機械施設整備支援 組織運営の規約を定めた集落営農組織が、集落営農の基本方針、機械施設の整備方針及び地区内の水田面積の過半を農業用機械の共同利用または作業受託で集積する目標を定めた集落ビジョンを策定し、そのビジョンに沿って実施する農業用機械及び付帯施設の導入支援(3市町村3組織)を行った。</p>	
担い手確保・経営強化支援事業		<p>「人・農家プラン」が作成されており、担い手への農地の集積・集約化を進めている地区において、売上高の10%以上の拡大や経営コストの10%以上の縮減などに意欲的に取り組む地域の担い手に農業用機械等の導入の支援を行った。</p> <p>(大山町1件、日吉津村1件)</p>	

目 名		金融対策費	(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課経営支援担当)		事業の概要(目的、実績等)	
鳥取県農業経営基盤強化資金利子補助金		<p>農業経営基盤強化資金を借り受けた農業者の利子負担軽減のため、市町に対して利子補助を行った。(境港市、大山町、南部町、伯耆町)</p>	

目 名		農地調整費	(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課経営支援担当)		事業の概要(目的、実績等)	
農地集積総合推進事業		<p>◆農業委員会費 農地法その他の法令により、その所掌に属する法令業務及び優良農地の確保、農地の有効利用、認定農業者等の担い手対策等の業務を行う市町村農業委員会及び県農業会議の活動を支援した。</p> <p>また、農地法、農振法等に基づく許認可事務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地法第4～5条の許認可事務等 ・農振法における市町村整備計画の変更事務等 	

目 名 畜産振興費		(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課経営支援担当)	事業の概要(目的、実績等)	
鳥取和牛振興総合対策事業	<p>◆子牛導入支援対策、高能力子牛特別導入支援 「鳥取和牛オレイン55」のブランド化を図るため、オレイン産能力の高い県内外産繁殖用雌子牛および肥育素牛の導入支援を行った。また県内種雄牛「白鷗85の3」「百合白清2」の産子である繁殖用雌子牛および肥育素牛を導入する場合は、特別に鳥取和牛振興戦略基金を上乗せし、支援を行った。 (西部農協 繁殖用雌子牛導入7頭、肥育素牛導入8頭(うち特別導入支援6頭))</p> <p>◆担い手の増頭に対する緊急支援 子牛価格が高騰する中、優秀な血統の繁殖用雌牛を確保するため、和牛繁殖農家に対し、雌牛の導入支援を行った。 (米子市3戸41頭、大山町15戸74頭、南部町3戸6頭、伯耆町14戸44頭)</p> <p>◆和牛放牧拡大支援事業 生産コスト・労力軽減のため和牛放牧の推進を図り、経営安定を目的に耕作放棄地等で和牛放牧を実施する際に電気牧柵等の機器整備に対して助成を行った。 (米子市1件)</p>	

目 名 家畜保健衛生費		(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課経営支援担当)	事業の概要(目的、実績等)	
豚コレラ防護柵対策緊急支援事業	<p>県内におけるCSF(豚熱)の発生防止のために、養豚場がイノシシ等野生鳥獣を防御するための防護柵等の設置に対して助成を行った。 (大山町3件)</p>	

1.5 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名	農業総務費	(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課林業振興室)	事業の概要(目的、実績等)	
鳥取県版緑の雇用支援事業	林業担い手を育成・確保するため、林業事業体が行う新規就労者に対するOJT研修の経費に対して助成した。 未来を担う林業人材育成研修：新規就労者1人(1事業体)	
鳥取県木材産業雇用支援事業	木材産業の振興と雇用の拡大を図るため、木材産業事業体が新たに人材を確保し、OJT研修に必要な経費に対して助成した。 新規就業者育成研修：新規就業者1人(1事業体)	

目 名	林業振興費	(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課林業振興室)	事業の概要(目的、実績等)	
森林整備地域活動支援交付金等	森林経営計画の作成を促進するため、市町村と協定を締結し、森林経営計画の作成等を行った森林所有者等に対し、市町村が交付金を交付するのに要する経費及び市町村推進事務費に対して助成した。 森林経営計画作成促進：2町、市町村推進事務：1町	
森林整備担い手育成対策事業	林業労働者を育成・確保するため、林業労働者の免許取得、社会保険料掛金、安全衛生技能講習及び安全確保装備・器具等購入に要する経費に対して助成した。 木材運搬等効率改善事業(大型免許取得)：労働者1人(1事業体) 社会保険料掛金助成事業：労働者12人(3事業体) 安全衛生技能講習支援事業：労働者20人(3事業体) 安全・安心を確保するための装備・器具等購入費助成事業：25個(2事業体)	
鳥取県間伐材搬出促進事業	適正な森林の保全・整備、木材の有効利用を図るため、間伐材の搬出に要する経費に対して助成した。 51.31ha、6,805m ³ (4事業体)	
鳥取県林業再生事業	森林集約化の促進、素材生産性の向上、素材生産コストの低減、労働環境の改善を促し、持続性のある産業構造に改善することで森林の適正管理と森林資源の有効利用及び林業従事者の安定的な確保を図ることを目的として、高性能林業機械等の整備及びリース導入に要する経費に対して助成した。 低コスト林業機械リース等支援事業：林業機械7台(3事業体)	
木材産業人材育成推進事業	木材産業事業体の就業者の育成・確保を図るため、講習の受講や資格の取得等の経費に対して助成した。 資格習得支援事業：就業者7人(4事業体)	
きのこ王国とっとり推進事業	原木しいたけ等の生産体制の整備、販売戦略の実施、原木の安定確保を行う生産者等の取組を支援し、きのこ王国ととりの実現を推進するため、生産者等が原木及び種菌の調達に要する経費に対して助成した。 生産拡大支援事業：生産者等2人及び1団体	
みんなで取り組む山間地きのこ生産モデル事業	山間地で新たに原木椎茸生産に参入する集落営農組織を支援するため、栽培を開始するために必要な施設及び機械・器具設備の整備に要する経費に対して助成した。 実施者1組織(低コストハウス1棟、人工ほだ場、2棟、椎茸スライサー1台)	
鳥取県森林環境保全税	森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成及び森林環境の保全・整備を図るため、ポ	

関連事業	ランティア団体等が行う森林体験企画及び市町村と協定を締結したNPO等が行う放置竹林の整備の実施に要する経費に対して助成した。 とっとり県民参加の森づくり推進事業：4団体、 竹林対策：3カ所（2町）
------	---

目 名	森林病虫害防除費	(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課林業振興室)	事業の概要（目的、実績等）	
松くい虫等防除事業	<p>松くい虫被害の拡大を防止し重要な松林を保全するため、また、カシノナガキクイムシによるナラ類樹木の被害を防止するため、県が駆除事業等を行うとともに、市町村の行う駆除事業及び予防事業に要する経費に対して助成した。</p> <p>松くい虫等防除事業： 特別防除708ha（3町）、地上散布4ha（2町村）、樹幹注入1,119本（県）、 緊急防除75m³（2町）、伐倒駆除・特別伐倒駆除371m³（4市町、県） 政令指定森林病虫害等防除事業（ナラ枯れ対策事業）： カシナガトラップ2,077基（2町）、立木くん蒸2,070本（3町）、伐倒駆除93本</p>	

目 名	造林費	(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課林業振興室)	事業の概要（目的、実績等）	
造林事業	<p>森林資源の充実、健全な育成及び森林の有する公益的機能の高度発揮を図るため、市町村、森林組合等の実施する森林整備に要する経費に対して助成した。</p> <p>森林環境保全直接支援事業：下刈9.79ha、間伐19.63ha、枝打0.68ha、除伐0.19ha、 森林作業道3,408m、人工造林0.80ha、保育間伐8.93ha 特定森林再生事業：下刈20.72ha</p>	
造林事業（衛生伐）	<p>松くい虫被害の拡大を防止し重要な松林を保全するため、県が駆除事業を行った。</p> <p>衛生伐：伐倒駆除・特別伐倒駆除105m³</p>	
中山県営採種圃維持管理事業	<p>県営採種圃の維持管理作業を行った。</p> <p>下刈3.8ha、薬剤散布1,086本、断幹269本、枝落とし274本</p>	

目 名	治山費	(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課林業振興室)	事業の概要（目的、実績等）	
治山事業	<p>保安林の機能の維持及び回復のため、植栽、下刈、つる切り等を行った。</p> <p>保安林緊急改良事業：植栽0.07ha、防風工63m 保育事業：下刈11.14ha、つる切り0.60ha</p>	

目 名	保育事業費	(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課林業振興室)	事業の概要（目的、実績等）	
県営林事業	<p>大山町内の県営林において松くい虫防除のための農薬散布を行った。</p> <p>地上散布7.6ha</p>	

目 名	管理事業費	(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課林業振興室)	事業の概要(目的、実績等)	
県営林事業	県有林及び県有林内林道の維持管理作業並びに県行造林地の立木調査を行った。 弓ヶ浜県有林維持管理業務：緊急処理1式、除草10,260㎡、枝条搬出47m ³ 、 防風柵修繕1式 林道大平線維持管理業務：除草5,974㎡、側溝清掃42m ³ 、緊急処理1式 県有林：廃棄物処理1式 立木調査：2カ所	

目 名	造林費(明許)	(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課林業振興室)	事業の概要(目的、実績等)	
造林事業	森林資源の充実、健全な育成及び森林の有する公益的機能の高度発揮を図るため、市町村、森林組合等の実施する森林整備事業に対して助成した。 森林環境保全直接支援事業：間伐23.21ha、除伐0.72ha、森林作業道5,884m、 人工造林0.10ha、保育間伐4.03ha	

目 名	治山費(明許)	(令和2年4月30日現在)
事業名 (農林業振興課林業振興室)	事業の概要(目的、実績等)	
治山事業	保安林の機能の回復のため、植栽等を行った。 保安林緊急改良事業：植栽0.51ha、補植136本	

地域整備課

1.5 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名	農地総務費	(令和 2年4月30日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要(目的、実績等)	
管理体制整備計画策定費事業(県営事業)	農業水利施設の管理について、受益農家だけでなく多面的機能を楽しむ地域住民とも協働して、地域として達成可能な管理水準や管理体制等の具体的目標を定める。 ※米川地区、大山山麓地区	
管理体制整備促進事業補助金事業(団体営事業)	農業水利施設の管理に関して、土地改良区が行う地域住民との管理体制づくり(管理体制整備推進協議会の開催、農家や地域住民に対する啓発活動等)に要する経費、並びに施設維持管理費のうち多面的機能に資するための管理費相当分(維持管理費の37.5%)について助成した。※米川地区、大山地区	
基幹水利施設管理事業補助金	国営大山山麓総合農地開発事業で造成された下蚊屋ダムについて、維持管理費の一部を助成した。※大山山麓地区	
しっかり守る農林基盤交付金事業	市町村が実施する農林業生産基盤の整備及び補修、放置ため池や山腹水路等の防災措置並びに小規模な災害復旧を支援した。	
大沢川管渠点検診断調査事業	大沢川埋設管L=1, 779mにおいて、大沢川暗渠排水路被害者連絡協議会長との覚書により管路の安全性を確認するため、埋設管の内部を安全点検(毎年1回)を行った。	
米子市弓浜地区の荒廃農地再生活用推進事業	米子市の荒廃農地が集中している弓浜地区において、米子市と共同し農地耕作条件改善事業等の各施策を活用して荒廃農地を優良農地に整備し、担い手への集積を支援した。	

目 名	土地改良費	(令和 2年4月30日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要(目的、実績等)	
農地法面管理省力化対策事業	センチピードグラスによる農地法面管理省力化のPRほ場を設置するため、ほ場への種子吹付を実施と併せて、吹付前後の除草等の法面管理作業を関係農家に委託した。	
県営土地改良事業(譲与促進費)	土地改良財産譲与促進員を雇用し、譲与の促進を図った。	
畑地帯総合整備事業	国営大山山麓総合農地開発事業の関連事業として中山2期地区、名和2期地区、中山3期地区および名和3期地区の畑地かんがいの施設整備を実施した。	
経営体育成基盤整備事業	優良農地の確保・生産性の向上を図り、地域の意欲ある担い手への農地集積を加速化し、農業競争力の強化を目的とした未整備田の整備等を行った。	
県営農業基盤整備事業調査	老朽化した農業水利施設の機能診断を実施するとともに、水利用・水管理の効率化・省力化、水利施設の安全性向上を行うための対策検討を実施した。	
県営土地改良事業調査	県営土地改良事業実施に必要な諸条件について、調査・計画・設計を行い、実施計画を策定した。	
農地集積加速化農地整備事業	担い手への農地集積を加速化するため、農地中間管理機構が借入れているまとまった農地について、所有者への費用負担を求めない区画整理等を実施した。	
農業体質強化基盤整備促進支援事業	担い手への農地集積や農業の高付加価値化を図るために、市町村等が実施する農地や農業水利施設の整備を支援した。	
団体営農業水利施設保全合理化事業	市町村が実施するきめ細やかな農業水利施設整備等に伴う長寿命化対策、管理省力化対策のほか、機能保全計画の策定を支援した。	

農山漁村地域整備交付金	県営事業で整備を行った農道について、橋梁やトンネル等施設の点検診断による安全度評価の実施、また、農道の機能保全対策面として更新整備及び機能強化対策面から機能保全対策、通行の安全確保を支援した。
基幹水利施設ストックマネジメント事業	土地改良事業によって造成された農業用排水路等の基幹水利施設について、施設の劣化状況等を調べる機能診断を行い、その診断結果に基づいて施設の機能を保全するために必要な対策手法等を定めた計画に基づく対策工事により施設の長寿命化を図った。

目 名	農地防災事業費	(令和 2年4月30日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要(目的、実績等)	
ため池防災減災対策推進事業	ため池の決壊における浸水想定図等をもとに関係農民によるワークショップを実施し、万一の場合の初動作業や避難ルートの検討を行うことにより、地元に着したハザードマップを作成し、ため池災害の被害低減を図った。	
県営地域ため池総合整備事業	人命、人家若しくは公共施設等に被害を及ぼす災害発生のおそれがある場合に、早急に整備を要するため池の改修を、農村地域防災減災計画に基づき実施した。	
県営農業用河川工作物応急対策事業	構造が不適当又は不十分なため、前後一連の区間に比較してその治水機能が劣っている河川工作物または施設周辺に主要道路、鉄道又は人家等があり、地震による被害が生じた場合に人命・財産等での影響が大きい水路橋の安全を確保し、災害の未然防止を図った。	
県営たん水防除事業	農業用排水路において、施設の老朽化による損傷により、排水断面の阻害による洪水時の農地及び公共施設の湛水被害や、それに起因する農業用施設等の損傷による重大事故を未然に防ぐため、排水路の改修を行った。	
県営農地防災事業調査	自然的、社会的要因で生じた農業用施設等の機能低下の回復を行うための減災・防災マスタープランや施設の安全度評価、整備計画に必要な調査を行った。	

目 名	耕地災害復旧事業費	(令和 2年4月30日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要(目的、実績等)	
耕地災害復旧事業	平成30、令和元年度に発生した災害の復旧事業に対して補助金を交付し、事業の促進を図った。	

目 名	農地総務費(明許)	(令和 2年4月30日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要(目的、実績等)	
しっかり守る農林基盤交付金事業	市町村が実施する農林業生産基盤の整備及び補修、放置ため池や山腹水路等の防災措置並びに小規模な災害復旧を支援した。	
大沢川管渠点検診断調査事業	大沢川埋設管L=1, 779mにおいて、大沢川暗渠排水路被害者連絡協議会長との覚書により管路の安全性を確認するため、埋設管の内部を安全点検(毎年1回)を行った。	

目 名	土地改良費（明許）	(令和 2年4月30日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要（目的、実績等）	
畑地帯総合整備事業	国営大山山麓総合農地開発事業の関連事業として中山2期地区、名和2期地区、中山3期地区および名和3期地区の畑地かんがいの施設整備を実施した。	
経営体育成基盤整備事業	優良農地の確保・生産性の向上を図り、地域の意欲ある担い手への農地集積を加速化し、農業競争力の強化を目的とした未整備田の整備等を行った。	
県営農業基盤整備事業調査	老朽化した農業水利施設の機能診断を実施するとともに、水利用・水管理の効率化・省力化、水利施設の安全性向上を行うための対策検討を実施した。	
県営土地改良事業調査	県営土地改良事業実施に必要な諸条件について、調査・計画・設計を行い、実施計画を策定した。	
農地集積加速化農地整備事業	担い手への農地集積を加速化するため、農地中間管理機構が借入れているまとまった農地について、所有者への費用負担を求めない区画整理等を実施した。	
農業体質強化基盤整備促進支援事業	担い手への農地集積や農業の高付加価値化を図るために、市町村等が実施する農地や農業水利施設の整備を支援した。	
団体営農業水利施設保全合理化事業	市町村が実施するきめ細やかな農業水利施設整備等に伴う長寿命化対策、管理省力化対策のほか、機能保全計画の策定を支援した。	

目 名	農地防災事業費（明許）	(令和 2年4月30日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要（目的、実績等）	
県営地域ため池総合整備事業	人命、人家若しくは公共施設等に被害を及ぼす災害発生の恐れがある場合に、早急に整備を要するため池の改修を、農村地域防災減災計画に基づき実施した。	
県営農業用河川工作物応急対策事業	構造が不相当又は不十分なため、前後一連の区間に比較してその治水機能が劣っている河川工作物または施設周辺に主要道路、鉄道又は人家等があり、地震による被害が生じた場合に人命・財産等での影響が大きい水路橋の安全を確保し、災害の未然防止を図った。	
県営たん水防除事業	農業用排水路において、施設の老朽化による損傷により、排水断面の阻害による洪水時の農地及び公共施設の湛水被害や、それに起因する農業用施設等の損傷による重大事故を未然に防ぐため、排水路の改修を行った。	
県営農地防災事業調査	自然的、社会的要因で生じた農業用施設等の機能低下の回復を行うための減災・防災マスタープランや施設の安全度評価、整備計画に必要な調査を行った。	

目 名	耕地災害復旧事業費（明許）	(令和 2年4月30日現在)
事業名 (地域整備課)	事業の概要（目的、実績等）	
耕地災害復旧事業	平成30年度に発生した災害の復旧事業に対して補助金を交付し、事業の促進を図った。	

1.6 用地取得の状況調べ

該当なし

1.7 登記の状況調べ

(1) 登記の状況

(令和2年3月31日現在)

取得年度	取得筆数 A	前年度末 登記筆数 B	本年度 登記筆数 C	本年度末 未登記筆数 A-B-C	登記率 (B+C)/A×100 %	備考
27年度以前	8,475	8,174	8	289	96.5	
28年度	4	4	0	0	100.0	
29年度	0	0	0	0	100.0	
30年度	1	0	1	0	100.0	
元年度	0	0	0	0	100.0	

(2) 未登記原因調べ

(令和2年3月31日現在)

区分	取得年度	27年度 以前	28年度	29年度	30年度	元年度	計	備考
	本年度末未登記筆数	289筆	0筆	0筆	0筆	0筆	289筆	
上記の 原因別 内訳	相続関係が複雑であるもの	31	0	0	0	0	31	
	国外居住による困難なもの	0	0	0	0	0	0	
	相続人等の所在が不明なもの	0	0	0	0	0	0	
	共有地でかつ相続困難なもの	68	0	0	0	0	68	
	土地改良等換地処分未了のもの	5	0	0	0	0	5	
	国土調査によるもの	0	0	0	0	0	0	
	関係書類の紛失によるもの	42	0	0	0	0	42	
	地形図と現地が不突合のもの	47	0	0	0	0	47	
	図面調整未了のもの	50	0	0	0	0	50	
	抵当権等抹消未処理	24	0	0	0	0	24	
	所有権名義人と調印者が相違	4	0	0	0	0	4	
	仮登記中のもの	0	0	0	0	0	0	
	登記簿なし	2	0	0	0	0	2	
境界争いのため1筆の特定不可	2	0	0	0	0	2		
その他の原因によるもの	14	0	0	0	0	14		

1.8 林業改良指導活動状況調べ

該当なし

西部農業改良普及所

15 事業別予算執行状況調べ

目 名	農業総務費	(令和2年4月30日現在)																		
事業(活動)名 (西部農業改良普及所)	普及活動の概要(目的、実績等)																			
新規就農総合支援事業	<p>就農から就農後5年目までの新規就農者35名に対して就農支援制度の情報提供、研修計画と経営計画の作成を支援した。あわせて基礎的な栽培技術、経営管理についても指導し、早期の栽培技術の向上とそれに伴う所得向上につなげた。また、新規就農者のうち4名(うち2名は夫婦1組)に対して、それぞれに就農・くらしアドバイザー(3名)を設置し、地域への定着を支援した。</p> <p>表 過去5年間の新規就農者(就農から5年目までの農業者)(単位:名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規就農者</td> <td>49</td> <td>46</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>うち当年</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>		項 目	H27	H28	H29	H30	R1	新規就農者	49	46	43	43	35	うち当年	13	6	4	7	5
項 目	H27	H28	H29	H30	R1															
新規就農者	49	46	43	43	35															
うち当年	13	6	4	7	5															
もうかる6次化・農商工連携支援事業 (うち人材育成対策事業)	<p>国によりHACCP導入の義務化の方向性が示されたことや、6次化農家の有利販売につなげるため、モデル農家を育成し推進を図る必要がある。そこで、「HACCP研修会」を開催し、推進を図った。1戸が県版HACCP認証を受けることができた。</p> <p>また、6次産業化に取り組む農家はこだわりをもってよい商品を作っても、PR不足により販売に苦慮している人も多い。そこで、情報発信のツールとして主流になっているSNSの活用法を学ぶセミナー「Facebook活用セミナー」を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HACCP研修会</td> <td>4月23日</td> <td>18名(内農家16名)</td> </tr> <tr> <td>Facebook活用セミナー</td> <td>6月28日</td> <td>29名(内農家17名)</td> </tr> </tbody> </table>			開催日	参加者	HACCP研修会	4月23日	18名(内農家16名)	Facebook活用セミナー	6月28日	29名(内農家17名)									
	開催日	参加者																		
HACCP研修会	4月23日	18名(内農家16名)																		
Facebook活用セミナー	6月28日	29名(内農家17名)																		

目 名	農業改良普及費
事業(活動)名 (西部農業改良普及所)	普及活動の概要(目的、実績等)
農業改良普及所 管理運営費	効率的な普及活動に必要な情報ネットワークや情報機器の整備、携帯電話の利用料金及び公用車使用料等に充てた。
農業改良普及 指導活動費 (6 主な事業に関する調べ に記載)	<p>「業務概要は、(3)普及活動の重点事項と指導活動状況に記載」</p> <p>普及指導計画に基づき、作物、野菜・花き、果樹、畜産、加工流通・農業労働、総合支援の6つの専門班を置き、班による、技術指導・経営指導を実施するとともに、実証ほを9カ所設置し、新技術等の農家への普及や、課題解決を図った。</p> <p>6次産業化を目指す農業者に対しては、加工技術、商品開発、経営管理について支援を行ったほか、集落営農組織の法人化を含む、担い手と新規就農者の育成、遊休農地解消等の支援を行った。</p> <p>普及指導活動に係る地域の意見を聞く会を開催し、普及活動の実績に対する意見や、活動に対する要望を聞き、方針をまとめて次年度の普及計画に活かした。</p> <p>普及指導活動の協力者でもある指導農業士(13名)に対しては、視察や新規就農者との交流会を実施し、資質向上と新規就農者との関係づくりに役立てた。</p>
普及職員研修費	普及職員の指導能力向上のため、国・県の実施する研修に参加した。主なものは、

	<p>新規普及職員研修(国)、実務能力習得研修(国)、土地利用型農業支援研修(国)技術向上研修(県)、実践的農業基礎研修(県)などである。</p> <p>また、職員が資質向上のために圃場を借りて自主的に企画して調査・研究を行うエキスパート養成研修を2名が実施した。</p> <p>採用1年目の職員1名について、「専門能力」、「現場対応能力」の早期習得のため、新任期普及員職場研修(OJT研修)を実施した。</p>
委託料	<p>土壌分析の際に生じた廃液(廃酸)を、産業廃棄物として委託処理を行った。</p>

目 名	農作物対策費
事業(活動)名 (西部農業改良普及所)	普及活動の概要(目的、実績等)
生産振興推進事業	花きの生産振興と環境美化のため、庁舎玄関の生花や花壇の飾花を行った。
有機・特別栽培農産物等 総合支援事業	有機農産物等の検査および判定業務を行い、有機農産物の推進に寄与した。

16 農業改良普及事業

(1) 普及事業の実態

ア 基本方針

- 管内の農業は、弓浜砂丘地を中心に白ねぎ産地を有し、大山山麓の黒ぼく地帯では梨・柿等の生産や酪農・肉用牛等の畜産経営、平坦部水田地帯では水稲・白ねぎ、ブロッコリー等を組み合わせた複合経営が行われている。また、水田地帯では20ha以上の大型稲作農家も多く、集落営農の組織化や法人化が進んでおり、弓浜砂丘地では大規模法人経営も見られるなど、それぞれの地帯の特性を生かした農業が展開されている。
- しかし、農業従事者の高齢化による担い手の減少、耕作放棄地の増加並びに中山間地域の集落機能の維持困難等農業農村を取り巻く環境も大きく変化してきている。また、平成30年度からは国による水稲の作付目標面積の廃止、創意工夫を活かした農業経営の展開や経営継承などの経営課題に対し伴走型の支援を行う農業経営相談所の立ち上げ、令和元年度からは収入保険制度の導入、スマート農業の実証事業を開始した。さらに、新型コロナウイルスの世界的流行によって令和3年度に延期されることとなった東京オリンピック、パラリンピックの食材調達基準にJGAP、グローバルGAPが要件となることを受け、国がその取得推進を図るなど、農政の大きな転換期となっている。
- このような状況のなか、鳥取県農業生産1千億円達成プランが策定され、Ⅰ「仲間が増える」、Ⅱ「所得が増える」、Ⅲ「地域農業が進む」を基本目標として、10年後(令和10年)の農業粗生産額1千億円達成を目指して農業振興を推進することになった。
- 西部農業改良普及所は、鳥取県農業生産1千億円達成プランを達成するため「地域」に根ざした農業振興、新規就農者の育成、女性農業者の支援に努める。「消費者の満足度を高める農畜産物の生産支援と所得向上を目指す農業者への自立支援」をミッションとし、普及活動では人・農地プランを推進し、担い手・新規就農者を育成するとともに、地域の中核となる担い手の経営改善に取り組み、消費者ニーズに沿った活力ある農業の支援、消費者に信頼される産地として地域農業の再生を目指す。特に新規就農者は、新規就農予定者を含めると支援対象者は約30名以上と多い。これらの営農計画達成のため、指導体制を強化し、計画的な取り組みを実施する必要がある。
- そのため、支援対象・支援内容の重点化を進めるとともに、(公財)鳥取県農業農村担い手育成機構、市町村、農業協同組合等の農業団体・関係機関等と密接に連携し、農業者の支援にすきまを生じないよう役割分担等を図りながら、効率的かつ効果的な普及指導活動を展開した。

イ 活動体制

- 米子市、境港市、日吉津村、南部町、伯耆町を管轄区域とする。
- 総合支援、作物、野菜・花き、果樹、畜産班の5班を置き、専門分担方式の普及指導活動を行う。総合支援班は西部農業改良普及所次長を班長とし、新規就農者支援、農業労働改善、スマート農業支援、農業青年と女性農業者支援を行う。なお、地域振興など専門班を越える課題は、プロジェクトチームを編成し課題解決にあたる。
- 果樹班は、日野農業改良普及所も兼務する。
- 市町村等関係機関との連絡調整業務を行う窓口担当者を置き、普及主幹、副主幹が担当する。
- 普及指導計画の進行管理、情報の共有化、他機関との連絡調整を図るため、所内全体会議、班長会議、専門班会議、プロジェクト会議を適宜行う。

(2) 農業改良普及所の担当地区

市町村名	担 当 地 区 の 状 況								
	田 ha	畑 ha	樹園地 ha	計 ha	販売農家数 戸	乳用牛 頭	肉用牛 頭	豚 頭	鶏 千羽
米子市	1,514	680	73	2,267	1,818	31	156	-	555
境港市	12	231	2	245	91	-	-	-	51
日吉津村	122	24	4	150	117	-	2	-	-
南部町	737	57	81	875	788	193	256	0	-
伯耆町	930	270	20	1,220	903	93	1041	-	152
合計	3,315	1,262	180	4,757	3,717	317	1,455	0	758

田、畑、樹園地、販売農家数は2015年農林業センサスによる。

家畜飼育頭数は平成31年2月1日現在で、畜産課調べによる。(鶏は、千羽未満は四捨五入による)

-は事実のないもの。

(3) 普及活動の重点事項と指導活動状況

<重点項目>

ア 担い手農業者等の経営発展および新たな担い手の育成・確保

- (ア) 担い手育成は最重要課題であり、認定農業者をはじめとする多様な農業の担い手に対し、地域の戦略作物の生産性向上、新技術の普及に努める。また、人・農地プランに基づく農地集積による規模拡大等、経営発展の取り組みを支援する。
- (イ) 新規就農者、青年農業者の定着と資質向上、自立にむけた農業生産技術および農業経営に関する技術習得を支援し、市町村、農業協同組合、(公財)鳥取県農業農村担い手育成機構等と連携して、新規就農者が自立できるように継続した支援をおこなう。
- (ウ) 女性の農業経営への参画支援や女性農業者のグループ活動支援など、女性農業者への支援体制を充実強化する。

イ 多様なニーズに即した農畜産物等の安定生産と産地育成

- (ア) 消費者ニーズに即した農畜産物の安定的な供給を目指し、市場関係者、販売者、消費者との連携を強化して、産地の発展を支援する。
- (イ) 気象災害に対するリスク回避を考えた安定生産と農業経営維持のための排水対策などの技術や経営支援をおこなう。
- (ウ) 農産物の安定生産、省力化、生産性向上を目指し、水稻の直播技術、白ネギの黒腐菌核病や軟腐病対策、果樹の新品種・ジョイント栽培など新技術の普及を推進する。また、平成29年和牛全共での好成績を活かし、繁殖和牛の増頭など畜産の産地拡大を支援する。

ウ 地域農業の振興と農村地域の活性化

- (ア) 中山間地域などの農村の維持・活性化を図るため、農地の保全、地域農業の創生を図る。中山間地に対する多様な支援体制と連携して、農業振興対策を実施していく。
- (イ) 地域の水田農業を維持・活性化するため、集落営農の組織化、運営支援を行う。

エ 持続可能な農業生産の推進と食の安全・安心の確保

- (ア) GAP(農業生産工程管理)の取組を農業者、農業者組織に推進し、作業性・生産性の向上を図る。
- (イ) 農産物の安定生産のため、農業者の身体的負担軽減、省力化を考えた作業改善を支援する。
- (ウ) 持続性の高い農業生産方式の導入を目指し、有機農業に向けた取り組み及び特別栽培等の取り組みを支援する。
- (エ) 生産現場における農畜産物の生産履歴の記録や資材の適正な使用の取り組みを支援する。

<普及活動状況>

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
【作物班】 高品質な「星空舞」の栽培支援	「星空舞」栽培者 127名、66.9ha	①新品種の紹介と生産安定技術の普及 ○栽培暦の周知と必要に応じた改正支援、管理技術の普及啓発 ・JA鳥取西部に対し、栽培者への栽培暦周知のための講習会開催を呼びかけた。また、講習会で「星空舞」の栽培技術の徹底のための助言を行った。 ・伯耆町のCATVに出演し、星空舞の紹介を行った(9月11日)。 ・西部水田経営者会議研修会で状況報告、作付けの呼びかけを行った(1月10日)。 ・栽培反省会、次年度へ向けての	○栽培暦の周知と必要に応じた改正支援、管理技術の普及啓発 ・南部伯耆営農センター管内では、星空舞栽培者を対象とした、中干し講習会が実施された。 ・米子中央営農センター管内では、対象地域が広大になるため、通常の中干し講習会および穂肥指導会の際に、「星空舞」で注意する適正な水管理や穂肥についての講習が実施された。 ・ブランド化と品質安定を目的として、令和2年産も生産者登録をし、

		<p>検討会を4回行った。 10/25 (作柄について) 11/11 (試験成績検討、標高) 11/26 (栽培暦原案検討) 12/12 (栽培暦の最終案検討)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育調査および収量調査の結果をまとめた。今年は8月15日から9月5日の日照不足(平年の50%)により品質、食味が低下したと考えられると解析した。 ・サンプルデータによる栽培傾向の把握と次年度栽培暦の改正支援を行った。 <p>②地域に合った生産安定技術の検討</p> <p>○施肥方法の検討(食味値、品質、収量性の確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穂肥一発体系(分施と比較)について、産米改良協会展示ほ12圃場にて、肥料試験と生育調査の実施を支援した。展示ほ設置農家には、調査結果に基づき中干し時期や施肥の助言を実施した。 	<p>生産者全員に栽培研修を受けてもらうこととした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的にくず米が多い傾向であったが、早く収穫したほ場が乳白が少なく品質が良かった。比較的標高の高いほ場でも栽培が可能だった。 ・元肥一発施肥ほ場は、後半の色落ちがあり、次年度は、施肥量の増加が課題となった。
<p>【野菜・花き班】 気象災害に対応した水田地域等の白ねぎ振興</p>	<p>JA鳥取西部中央営農センター管内 白ねぎ生産部 95戸、23.2ha (重点2戸)</p> <p>JA鳥取西部南部伯耆営農センター管内 白ねぎ生産部 68戸、30ha (重点2戸)</p>	<p>① 白ねぎ収量の向上対策の実施</p> <p>○水田転作畑等での生産基盤の安定化に向け、排水改善対策の実施を地区ごとに推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水対策チェックポイント、を作成し配布した(中央、南部伯耆) ・パイプロソイラー施工の現地実証した(現地試験1カ所) ・農業試験場、その他県内外の関係機関と情報交換し、ほ場条件や施工方法別に条件整理した対策事例を収集した。 ・ほ場状況に応じた排水対策の実施状況について実態調査を行った。(中央、南部伯耆、現地巡回) ・A法人の暗渠施工効果について大雨後に暗渠施工実施圃場と未施工圃場の確認。作業状況の聞き取り。(南部伯耆) <p>○収量性の高い品種の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別に品種比較試験を実施した。(中央、南部伯耆:10品種、のべ38ほ場)(南部伯耆: 	<p>○明渠排水はすべての水田ほ場で実施されている。パイプロソイラーの施工は一部の大規模栽培者で実施されている(中央)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイプロソイラー処理により大雨後の排水が優れていることが確認された。 ・明渠排水はほぼ全てのほ場で取り組まれているが、明渠の深さが不十分な圃場が一部ある。また、耕盤破碎施工のみで排水効果が得られている圃場は明渠施工をしていない。耕盤破碎についても認識はあるが、未施工の生産者は作業委託コストを気にして施工していない。(南部伯耆) ・暗渠施工圃場は降雨後2~3日で機械作業に入ることができ、未施工圃場より2~3日早く作業できる効果あり。 <p>○試験結果をもとに各地区での有望品種を選定した。</p> <p>○従来の歩行型管理機に比べ大幅な作業改善となった。(1~2回目の</p>

		<p>9圃場で夏ねぎ1品種、秋冬ねぎ2品種・)</p> <p>○ねぎに取り組む大型水稲法人におけるねぎ作業体系の改良検証(南部伯耆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型トラクターによる土寄せ作業の作業性および栽培作業全体における導入効果の検証を調査するため、実証ほを設置した(令和元年6月～令和2年2月)。 <p>○地区別白ねぎの出荷推進対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間夏ねぎ収穫期前進化として春期のかん水処理及び不織布トンネルの効果検証を行った(南部伯耆) ・継続試験として伯耆町大瀧で試験ほを設置した。 ・3月20日定植、株間10cm(4粒) ・かん水+不織布トンネル(1区)、不織布トンネル(2区)、かん水区(3区)、無処理区(4区) ・4月10日、21日かん水(2t/10a) <p>○ビニールトンネル栽培の普及に向けトンネル栽培取り組み生産者の調査・聞き取りを行った。</p> <p>②新規就農者等の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白ねぎ新規就農者の資質向上や活動の活性化を目標に、指導や支援を行った。 ・南部伯耆営農センター管内新規栽培者を対象に研修会を開催(5月13日)。 ・若手組織「白葱南伯連合会」の活動支援(南部伯耆)を行った。 ・会の運営方法、活動内容について野口会長と南部伯耆営農センター担当者との協議の場を設け助言(6月12日) ・役員会の開催を設定し活動内容に対して助言した。(8月) ・第一回研修会の開催を支援した(9月)。 	<p>土寄せは畝長90m、畝数19本の30a圃場で1時間半程度。最終土寄せは3時間程度(各畝2往復)かかった。歩行型管理機では一般的に10aあたり1時間かかる)加えて、土寄せ作業の疲労度も歩行型に比べ少ないとの評価であった。</p> <p>○春期のかん水処理及び不織布トンネル試験は、無処理区に対して収量および2L比率はやや劣る結果となったが、収穫期を分散することができた。</p> <table border="1" data-bbox="1069 560 1468 795"> <thead> <tr> <th></th> <th>収穫日</th> <th>2L比率</th> <th>反収(箱)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1区</td> <td>7/17～18</td> <td>32%</td> <td>1093</td> </tr> <tr> <td>2区</td> <td>7/21～22</td> <td>48%</td> <td>1186</td> </tr> <tr> <td>3区</td> <td>8/ 9～10</td> <td>51%</td> <td>1128</td> </tr> <tr> <td>4区</td> <td>8/11～12</td> <td>58%</td> <td>1221</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ビニールトンネル栽培は冬～春の気温が低かったため6月下旬から7月にかけての収穫となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者7名のうち、個人3名、1法人の計4名が参加した。病害虫や栽培管理、専門用語についてなど質問も多くあった。(南部伯耆) ・仮会員27名のうち14名が出席(出席率52%)。ローラー式培土機の実演や害虫防除、品種についてメーカーを講師に招き研修。 ・参加者は活動に意欲的で、いい勉強になったと反応があった。 		収穫日	2L比率	反収(箱)	1区	7/17～18	32%	1093	2区	7/21～22	48%	1186	3区	8/ 9～10	51%	1128	4区	8/11～12	58%	1221
	収穫日	2L比率	反収(箱)																				
1区	7/17～18	32%	1093																				
2区	7/21～22	48%	1186																				
3区	8/ 9～10	51%	1128																				
4区	8/11～12	58%	1221																				

<p>【果樹班】 梨の生産安定と産地振興</p>	<p>米子・あいみ果実部 梨生産者54戸、 25.9ha 別所選果場 梨生産者15戸、 4.6ha 江府町農業公社 0.1ha (重点対象農家18名)</p>	<p>①各品種の生産安定、品質向上及び更なる導入推進 ○「新甘泉」の生産安定と品質向上 ・変形硬化対策として、摘果時期を幼果の形がよく分かる時期にするように指導した。指導会の実施（5/1会見地区）パンフレットの配布（4/18） ・安定して高収量を得るために花芽を確保するよう指導した。 ・高及び低収量園の結果枝等の樹体調査を行い、結果をもとにせん定方法を指導した。 ・各園の枝齢（4月）収穫量（9月）の調査 ・夏枝管理の指導会（6/24・27）パンフレットの配布（7/1） ○「なつひめ」の環状剥皮による熟期促進（糖度向上） ・樹勢にあわせて処理幅を変えるよう指導会で説明した。（7/11・16） ②省力化と早期多収栽培技術の普及 ・ジョイント研究会を4月に立ち上げ、生産者、関心のある人を集めて現地で研究会を実施した。（3回）・新規ジョイント栽培取組農家へ ジョイント接ぎ木、新梢管理等 の栽培管理指導を行った。 ・モデル園の芽かき、誘引、摘心、着果を徹底し、視察・指導会等で紹介した。 ③新規就農者の育成確保 ○別所地区で初心者向けの梨柿栽培初心者講習会を開催した（6/27、7/16、1/15）。 ○稲吉集落で集落の年末総会で団地事業へ取り組むよう働きかけた。</p>	<p>①各品種の生産安定、品質向上及び更なる導入推進 ○「新甘泉」の生産安定と品質向上 ・摘果を形状がわかる開花後40日頃から行い変形硬化の割合は少なかった。 ・予備枝を多く残し、枝齢が進んだ側枝を更新したせん定がなされるようになった。 ○「なつひめ」の環状剥皮による熟期促進（糖度向上） ・各自で樹勢の強弱を見極めて処理を行うようになった。糖度クリア率90%以上は11/13戸であった。 ②省力化と早期多収栽培技術の普及 ・研究会は夫婦、親子を含め参加者は20名程度あり、活発に質問も出て関心は高まっている。 ・3戸が新たにジョイント栽培をはじめ順調に生育している。 ③新規就農者の育成確保 ○7名の参加があり、今後も継続して行っていく。 ○耕作条件改善事業で取り組むこととなり新規就農者1名、退職就農者2名を含む8名、約1.5haの規模となった。</p>
------------------------------	---	---	---

<p>【畜産班】 和牛の生産拡大に向けた支援</p>	<p>繁殖和牛農家43戸</p>	<p>①子牛の生産性向上の支援</p> <p>○子牛の健康状態の確認、飼養改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA等と連携して、管内の子牛の巡回調査を2か月毎に行った。雌382頭、雄496頭（延頭数）について全国和牛登録協会（全和）の平均発育（体重）との差を標準偏差（σ）を用いて示した。 ・発育不良の子牛の状態（栄養度、毛ツヤ、腹囲の膨満性、哺乳姿勢など）と体重データを用いて農家と検討を行った。特に初期発育における哺乳量の充足に重点をおき、不足の場合は人工哺乳の活用などにより哺乳量を増加することで発育の改善を図った。 ・子牛の便に異常（下痢、軟便）が見られた農家について、便をメッシュの大きさが異なる3層の網で濾過して飼料の消化性を確認し、飼養改善を検討した。 <p>○せり上場時の子牛体重データの解析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年の8回のせりについて、管内の出荷牛の成績と県平均のそれを比較した。牛のせり出荷時体重の分布を全和σのヒストグラムで示した。 <p>○母牛の繁殖性向上の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母牛の繁殖障害（受胎率低下、卵巣疾患）を示した農家で、飼養管理状況や母牛の健康性のチェック（MPT）を行い、農家と改善を検討した。 <p>②規模拡大農家の取り組み支援</p> <p>○多頭化に伴う飼養管理の高度化・子牛の肺炎の集団感染が発生していた農家で、感染源の調査（細菌、ウイルス）や疫学調査を行った。牛舎環境について舎内の空気を採し、空気の汚染の程度を調査した。併せて、暑熱対策用に使用しているミストシステムに消毒剤を添加することによる除菌効果を検証した。</p>	<p>①子牛の生産性向上の支援</p> <p>○子牛の健康状態の確認、飼養改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雌の日齢体重（体重/日齢）は1.06 ± 0.18kg、体重σは0.6 ± 1.2であり、雄の日齢体重は1.17 ± 0.38kg、体重σは$\Delta 0.2 \pm 1.5$であった。発育予測曲線（体重）では、全和平均と比べ、雌は大きく、雄は同程度を示した。 ・発育不良の子牛が発生した農家について、人工哺乳技術を活用した哺乳量の増加を主体とした技術支援を行い、発育が改善すること、一方不十分な管理を行った場合に子牛の発育が低下することを農家が体感し、体重データや代謝プロファイルテストでもそれを示すことで、農家の理解が深まった。 ・子牛の便の検査により子牛の消化状態の把握を農家と視覚的に共有することができた。飼槽の状態を確認して、均等に採食しているか検討し、子牛の便の改善を認めた。 <p>○せり上場時の子牛体重データの解析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷牛の体重σが低値では子牛価格も低値であり、適正な発育で価格が高い傾向が見られ、子牛の発育の程度が販売額に影響することを農家に説明、情報を共有した。 <p>○母牛の繁殖性向上の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母牛の栄養（特に蛋白質）が不足していることがMPTデータから読み取れたため、飼料の栄養濃度を高めるよう、繁殖用配合飼料を増給した。 <p>②規模拡大農家の取り組み支援</p> <p>○多頭化に伴う飼養管理の高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肺炎の感染源の特定の必要性を農家が再認識し、治療方針、予防策の検討、除菌効果の検証（消毒剤の濃度など）に繋がった。舎内の空気の培養結果からミスト活用後に菌数が減少する傾向があり、空気の除菌効果が期待できた。その後、肺炎の発生は散発的となり、子牛の回復を確認した。
--------------------------------	------------------	---	--

<p>【総合支援班】 次代を担う農業青年と 女性農業者の育成</p>	<p>米子地区農村青年 会議連絡協議会 (20名) 女性農業者組織 (2組織) 積極的に経営参画 希望する女性農業 者</p>	<p>①農業青年に対するプロジェクト活動及び組織活動への取り組み支援</p> <p>○個別の経営上の課題解決に取り組む活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年会議会員に対して、プロジェクト活動の趣旨を説明、実施について呼びかけを行った。 ・青年会議定例会において、プロジェクト活動について意見交換等を図るよう誘導した。 ・中国四国若い農業者のつどいでプロジェクト発表及び意見発表について、データ追加の支援、発表当日に向けた資料作成や発表練習の支援を行った。 <p>○米子地区農村青年会議連絡協議会の活動支援・自己研鑽、資質向上に向け、年間事業活動実施に向けた定例会での助言、調整等を行った</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員自らが新規就農者の勧誘を行うように情報提供を行い、研修会・勉強会の場での勧誘を支援した。 <p>②女性農業者の活動支援</p> <p>○女性農業者セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酪農女性（バリモー会4戸）を対象に、飼養管理技術等の勉強会（8回）の開催支援を行った。 ・鳥取西部和牛改良組合女性部の視察研修や意見交換会の企画・運営支援を行った。（3回） ・野菜栽培女性農業者を対象に土壌の勉強会を6回開催した。 ・西部地域（西部、大山、日野）の女性農業者を対象に農業機械セミナー（管理機の基本的な取扱方法等の研修）を行った。 <p>○女性農業者ネットワーク交流会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部地区にある女性農業者の3つのネットワーク（さかいみなと女性農業者人財バンク、伯耆町女 	<p>①農業青年に対するプロジェクト活動及び組織活動への取り組み支援</p> <p>○個別の経営上の課題解決に取り組む活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・M氏はR1年春作で追加試験を実施し、H30年春作の試験とあわせてプロジェクト結果を取りまとめて、中国四国若い農業者のつどいで県代表として発表した。 ・S氏は就農までの経過と今後の夢について、同じく中国四国若い農業者のつどいで県代表として発表した。 ・M氏とS氏の発表は残念ながら受賞は逃したが、参加者からは高い評価を受けた。 <p>○米子地区農村青年会議連絡協議会の活動支援・青年会議会員が中心となり事業を円滑に進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年会議会員より新規就農者へ勧誘を行い、1名が新規加入した。 <p>②女性農業者の活動支援</p> <p>○女性農業者セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3戸が2つ以上の技術導入を行い、それぞれの経営に役立てた。 ・設立2年目の活動であるが、会員の積極的な意見により、組織活動が順調に行われた。 ・2名が土壌医試験を受験し、3級に合格した。 ・全体で21名、内管内からは16名の参加があり、実際に役立つ内容であった、実践したいとの声が多数あった。 <p>○3つの組織が交流することで、活動に対する思い、女性農業者としての経営参画への意識が共有され</p>
--	---	--	---

		性農業者ネットワーク、とっとり農業女子ネットワーク西部支部)の交流会を開催した。	た。
--	--	--	----

(4) 普及事業で、他の事業実施に対する援助指導状況

事業名	指導内容	成果又は結果
みんなでやらいや農業支援事業 (がんばる農家プラン事業、がんばる地域プラン事業)	経営発展を目指して個人やグループが作成する農家プランや、地域活性化のため町やJAが作成する地域プランについて、技術・経営上の相談に対応し、プラン作成を支援するとともに、目標達成に向けて技術等の指導・支援を行った。	米子市5件、境港市2件、南部町2件、伯耆町2件、日吉津村1件、計12件のプランが新規認定された。
もうかる6次化・農商工連携支援事業	6次産業化を目指す生産者が作成するプランについて技術・経営上の相談に対応し、プラン作成を支援するとともに、原材料の栽培支援、事業開始後の経営発展支援を行った。	6次化に関わるプランが3件採択された。 スタートアップ型が1件採択された。
とっとり農林水産業女子が進める働き方改革推進事業	女性農業者の経営参画を推進するため、女性農業者を対象に機械セミナーを開催した。また、各分野での勉強会や女性農業者ネットワーク交流会を開催し、活動を支援した。	土壤医3級に2名が合格した。 大型特殊免許を2名が取得した。
鳥取県食の安全・安心HACCP推進事業	HACCP研修会を開催するとともに、認証へ向けた個別支援と申請支援を行った。	1戸が認証を取得した。
地域資源活用・農商工連携促進事業	6次化農家及び農商工連携事業者を対象にキャッシュレス決済セミナー、ネットワークにかかる視察研修を行った。	キャッシュレス決済の導入が進んだ。
食のみやこ鳥取県推進事業	夏の味力まつりの実行委員として、企画・運営を支援した。	昨年比2倍の出店者があり、今後も継続していくこととなった。
農作業安全・農機具盗難防止対策事業	指導会・研修会や巡回時を利用して、農作業安全を促している。 南部町の(農)寺内農場で、農産業安全研修会を2回(8月、1月)開催した。	(農)寺内農場では、女性も含め農作業の安全に対する意識が高まり、草刈作業時にはゴーグルを着用することを決めた。
鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業(国、県)、園芸産地活力増進事業	低コストハウスを利用した作物の栽培支援を行い、低コストハウスの定着を進めた。	現段階では、ハウスの強度に問題はなく、ハウス内の作物も順調に生育している。
鳥取県有機・特別栽培農産物等総合支援事業	有機的栽培の技術支援や、特別栽培農産物の認証に向けた生産技術や申請に係る指導・支援を行った。 有機栽培の鳥取県認証のため、検査員としての現地調査業務と、判定員業務を行った。	米子市9件、南部町5件、伯耆町4件、計18件が特別栽培農産物に認定された。
戦略的園芸品目総合対策事業	白ネギ部会の活動に参加し、県下のJA、普及員等と反収UPにつながる栽培技術について情報共有や現地視察研修等を行った。	年3回の現地研修会を行った。
白ねぎ総合対策事業	ネギ黒腐菌核病対策として土壌消毒、生育期農薬散布、微生物資材の投入等の指導を行った。	発病ほ場が減少した。
(国)農地耕作条件整備事業	米子市稲吉集落の総会で事業について説明し、梨団地の事業に取り組む人(これまで梨栽培していない人を含む)を募集した。	8名(新規就農者1名、退職就農者2名含む)が、1.5haでジョイント・網掛け栽培に取り組むこととなった。

鳥取へ!JU!アグリスター ト研修支援事業、新規 就農者総合支援事業 (国、県)、鳥取県版農の 雇用支援事業	先進農家での本格的な研修を実施するに当たり、(財) 鳥取県農業農村担い手育成機構や指導農家と連携して 技術指導した。 あわせて、就農計画作成の支援を行った。	新たに、2名が認定新規就農者とな った。
農業者総合サポート事情 (農業経営相談所)	(6次化)経営発展を目指す農家(1戸)を経営相談所と連 携し、技術指導及び経営指導を行った。	現状の経営分析が重要なことが認識 され、継続指導予定。
鳥取和牛振興総合対策 事業	農業者の増頭計画作成支援および、飼養技術の支援を 行った。	平成31年度、事業により導入された 繁殖用雌牛:34頭(9戸)。

(5) 農業改良普及所が指導及び設置している展示圃(農業改良普及活動促進事業)の設置状況調べ

(令和2年4月30日現在)

事業名	展示目的	展示内容	実施 場所	実施 者名	事業費	事業量 計 画 (実績)	展 示 期 間	指 導 した 期 間	支 払 額	支 払 年月日
農業改良普及 指導 活動 費	【白ネギ】 白ネギ難防除 病害「ネギ黒 腐菌核病」の 防除体系の確 立	ネギ黒腐菌核病の有 効な生育期防除剤 「パレードフロアブ ル20」について、 感染確認ほ場で土 壌消毒を行っていな いほ場で秋冬作型で の薬剤効果の有効性 を確認する。	米子市 和田町	個人	10,000円	20a	R1.7.1 ～ R2.2.28	R1.7.1 ～ R2.2.28	10,000円	R2 4/2
	白ねぎ栽培に おける小型ト ラクターの実 用性検証	水田地域の白ねぎ栽 培において、小型ト ラクターによる管理 作業能率と栽培体系 を調査し、水田地域 での普及性を検討す る。	南部町 福成	個人	10,000円	30a	R1.6.3 ～ R2.2.28	R1.5.2 ～ R2.3.10	10,000円	R2 3/19
	【ブロッコリー】 ブロッコリー 高畝栽培等の 実証	水田地域のブロッコ リーは大雨による湿 害を受けやすく栽培 が不安定である。そ こで、高畝栽培等の 排水対策を実施し、 その実用性と効果に ついて検証する。	米子市 大高坂 ノ下	個人	10,000円	30a	R1.7.17 ～ R2.1.31	R1.7.1 ～ R2.2.29	10,000円	R2 3/16
	【果樹：梨】 「甘太」ジョ イント栽培の 栽培技術の検 討	梨新品種「甘太」は 9月下旬から収穫で きる青梨で今後普及 が見込まれている。 管内で「甘太」のジ ョイント栽培に取り	米子市 淀江町 稲吉	個人	10,000円	5a	R1.7.1 ～ R2.1.30	R1.7. ～ R2.1.30	10,000円	R2 2/19

		組まれている生産者があるので、果実品質について調査し今後に普及に役立てる。								
【果樹：梨】 「夏さやか」の摘果時期が果実品質に及ぼす影響	早生ナシ新品種「夏さやか」は、県内では南部町を中心として栽培されているが、昨年、摘果作業の遅れが原因で小玉果が多く発生した。そこで、摘果時期の違い（早晚）が、果実品質にどのように影響するか調査する。	西伯郡南部町原	個人	10,000円	24㎡	R1. 6. 1 ～ R1. 8. 20	R1. 5. 1 ～ R1. 12. 28	10,000円	R1 8/29	
【果樹：柿】 「輝太郎」の笠及び袋かけが果実品質に及ぼす影響	柿「輝太郎」は単価が高く県西部でも導入が進んでいるが、果皮が弱く、赤秀率が非常に低い。収穫前に「輝太郎」に笠及び袋かけを実施し、「手間がかかっても高品質（高単価）の果実を生産」する栽培方法について実証する。	米子市別所	個人	10,000円	1 a	R1. 8. 1 ～ R1. 10. 31	R1. 6. 10 ～ R1. 12. 28	10,000円	R1 12/4	
【畜産】 和子牛の発育促進技術の実証試験	和子牛の鳥取県せり価格は全国でもトップクラスであるが、子牛が健康で発育が良好であることが必要条件となる。複数の子牛を同一場所で群として飼養する場合、個体ごとの管理が行き届かないことがあり、個体によっては発育が不十分になるおそれが生じる。このような子牛の群飼養下において飼料給与方法の工夫による子牛の発育の	米子市下印新	個人	10,000円	2頭	R1. 9. 9 ～ R1. 11. 10	R1. 9. 6 ～ R1. 12. 27	10,000円	R2 3/4	

		促進を図ることを目的とする。								
【加工・労働】 白ねぎ作業改善グッズ（ソフィ）の作業性の向上実証	白ねぎ生産では収穫機「ソフィ」の導入により、大幅に作業効率が向上し、大規模面積の栽培が可能となったが、機械の作業面が低いため前屈姿勢が多く、腰痛等の疾病を引き起こしやすい作業環境となっている。 そこで、前屈姿勢を減らすために収穫機の作業面を適正な高さに調整し、身体負担の軽減効果を確認する。	境港市 幸神町	個人	10,000円					10,000円	R1 12/13
		米子市 大篠津	個人	10,000円		R1. 7. 1 ～ R1. 11. 30	R1. 5. 1 ～ R1. 12. 28		10,000円	R1 12/13

西部農業改良普及所 大山普及支所

1.5 事業別予算執行状況調べ

目 名 農業総務費		(令和2年4月30日現在)
事業(活動)名 (大山普及支所)	普及活動の概要(目的、実績等)	
新規就農者総合支援事業	就農希望者や親元就農希望者に対して就農支援制度の情報提供、研修計画、経営計画の作成などを支援した。さらに、新規就農者(11名)に対して基礎的な農業技術、経営管理技術について指導した。	
とっとり農林水産業女子が進める働き方改革推進事業	<p>大山地区農業女子会(野菜コース)として、ブロッコリーの収穫調整作業の改善に向けた先進地視察と意見交換会を開催し、6名が出席した。</p> <p>また、大山地区農業女子会(全体)を対象とした疲労軽減のための体力づくり&交流会を開催し、7名が参加して、フィジカルトレーニングによる筋力づくりについて学んだ。</p>	

目 名 農業改良普及費		(令和2年4月30日現在)
事業(活動)名 (大山普及支所)	普及活動の概要(目的、実績等)	
鳥取県農業改良普及事業 (農業改良普及所管理運営費)	現地指導に用いる公用車の使用料、燃料費等の維持管理費、安全運転管理者協議会負担金、土壌診断のための消耗品の他、普及所庁舎の光熱費等にかかる費用など。	
(農業改良普及指導活動費)	<p>J A生産部や農業者(重点対象者含む)などに対して、栽培技術や指導助言や簿記記帳などの経営指導、新品種の適応性確認・新技術の情報提供など、一連の普及指導活動を展開してきた。</p> <p>また、耐病性品種の現地適応性や新技術の効果確認などを行うため、実証展示ほを8課題設置し、活動の成果は講習会で報告を行った。</p> <p>さらに「普及指導活動に係る地域との意見交換会」を開催し、農業者や関係機関から普及活動に対する意見や要望をとりまとめ、次年度の普及活動に反映させた。その他、普及指導活動の協力者でもある指導農業士(9名)の活動を支援した。</p>	
(普及職員研修費)	普及指導職員の指導力向上などのため、県が実施する研修や農林水産省が主催する各種研修を受講した(普及指導員実務能力習得研修(国)、新任普及指導員研修(国)など)。その他、財務諸表等を用いた経営指導を行うためのスキルを学ぶ経営分析研修を受講した。	

目 名 農作物対策費		(令和2年4月30日現在)
事業(活動)名 (大山普及支所)	普及活動の概要(目的、実績等)	
生産振興推進事業	花きの生産振興と環境美化のため、庁舎玄関周辺にミニフラワーガーデンを設置した。	

1.6 農業改良普及事業

(1) 普及事業の実態

ア 基本方針

管内（大山町）の農業は、広大な大山山麓を基盤として営まれており、海岸部から約700mまでの標高差と恵まれた環境条件を活用し、水稻、ブロッコリー、白ネギ、芝、種苗類、ナシ、リンゴ、牛乳（酪農）、肉用牛、肉用豚、肉用鶏、採卵鶏などの農畜産物が生産されている。また、ブルーベリーなどの観光農園も多く見られるなど、多様な農業が展開される県下有数の農業地帯である。

特に、特産産物としてすでに産地形成されているブロッコリー、白ネギ等の野菜やナシ、リンゴ等の果樹、酪農などの経営とともに新たな品目の模索導入も積極的に行われ、近年では、ハーブ（エキナセア）などの産地作りも行われており、既存特産物の維持発展と新たな産地化の2つの柱を踏まえた普及活動が求められている。

また、管内の担い手の状況については、鳥取県内の他地域と同様、農業就業人口は50歳以上がほとんどで（91%）、70歳以上が約半数を占めるなど、農業就業者の高齢化が進んでいる（2015 センサス）。

さらに、消費者ニーズの多様化、農畜産物の輸入増大、経済の停滞による消費の低迷、農業資材や飼料価格の高止まり、気象変動による被害発生、高齢化による栽培面積の減少など農業経営環境は厳しさを増している。

そうした中、管内では発展的な農業経営を目指す農業者も多く、経営改善計画を認定する農業者は平成31年3月時点で167名が認定されており、県下でも2番目に多い。さらに規模拡大や新規品目の導入などの発展的な経営プランを策定して所得向上を目指す農業者も多い。技術や経営のスキルアップによる農業経営への参画や相互交流に積極的に取り組む女性農業者も見られ始めている。

また、就農相談や新規就農者も近年増加傾向にあり、平成20年までは年平均2名程度であった新規就農者が平成21年以降は増加し、平成21年から平成30年まで計45名（年平均5名程度）の新規就農者が農業を開始している。品目ではブロッコリーを柱にした経営開始が大半であるが、白ネギでの経営開始も始めている。

一方、大山町では農産物の高付加価値化や販売・流通の多様化を支援するため、平成24年度から大山町農商工連携等サポートセンターが設置され、町農林水産課、企画課、商工会、普及所、（一財）大山恵みの里公社を構成員として、農業者等の農商工連携や6次産業化への取り組みを支援する体制が整い、農業者等の事業支援を始めた。今後農業者の所得向上を図るため、関係機関と連携しながら農業者への支援を行う必要がある。

さらに、大山町は、安心安全な農産物作りを特徴とした産地作りを基本とした農業振興を展開していることから、エコファーマーの認定や堆肥を活用した農産物生産のための畜産と耕種との連携強化を進めている。

以上の現状を踏まえ、普及員が農業者に直接現場で接し技術や経営に関する支援を行うことにより、農業経営や農村生活の改善に自主的に取り組む農業者を育成・支援する。

そのため、農業者と将来展望の共有や課題の明確化を図りながら、農業経営の技術の革新、担い手の育成確保、豊かでゆとりのある農家生活の実現、活力ある産地の形成、環境保全や食の安全・安心の確保等を目標として普及指導活動を展開する。

イ 活動体制

活動体制

- (1) 作物、野菜・花き、果樹、畜産、加工流通・農業労働の5つの専門班と新規就農者支援、6次産業化、法人・担い手・女性支援を中心に活動する総合支援班を編成し、専門分担方式の体制のもとで普及指導活動によって現地の課題解決を図る。
- (2) 各専門班には班長及び担当普及員を配置し、班長の総括のもとに専門分野に関する課題解決を行う。
- (3) 加工流通・農業労働に係る課題解決については、西部農業改良普及所（本所）に配置された広域担当普及員が行う。
- (4) 総合支援班は、西部農業改良普及所の班長と大山普及支所の副班長、新規就農者支援担当主査及び6次産業化支援担当主査、法人・担い手・女性主査を置き、相互に連携して活動を進める。総合支援班の普及対象となる農業者に対して担当普及員を配置し、総合支援班内で連携して個別支援を展開する。
- (5) 普及活動の成果を効率的・効果的に上げるために重点対象を設定し、得られた成果を講習会、研修会、広報等を活用して地域の農業者等に迅速に伝達する。

《体制図》

西部農業改良普及所大山普及支所

西部総合事務所
農林局長



(注1) 加工流通・農業労働班(2名)は西部農業改良普及所配置

(注2) 班長1名、班員1名は西部農業改良普及所配置

(2) 農業改良普及所の担当地区

(平成31年4月30日現在)

大山町	担 当 地 区 の 状 況									
	田 ha	畑 ha	樹園地 ha	牧草地 ha	計 ha	販売農家数 戸	乳用牛 頭	肉用牛 頭	豚 頭	鶏 羽
2015	1,680	1,332	121	—	3,134	1,685	2,626	765	45,582	×
2010	1,722	1,303	157	410	3,592	1,834	2,469	1,236	31,270	×
2005	1,974	1,300	207	341	4,120	2,243	3,170	2,170	38,800	906,000

※農林業センサスより、×は個人等の秘密保護のため統計数値を公表しないもの

※2010年は全項目が、販売農家のみ

(3) 普及活動の重点事項と指導活動状況

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
<p>水稲新品種「星空舞」の普及拡大と栽培支援</p>	<p>管内星空舞生産者 52名 重点対象2名（産米改良協会展示ほ設置農家）</p>	<p>1 新品種の紹介と生産安定技術の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA主催の栽培講習会において新品種の紹介、栽培特性、栽培暦の周知を行った。 ・JAから入手した生産者・圃場リストを元に、既存の中干し講習会、穂肥講習会などで、移植時期、水管理、穂肥、適期収穫等の技術の徹底を図った。 <p>2 地域に合った生産安定技術の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産米改良協会展示ほ（重点対象2名）において、肥料試験と生育調査の実施を支援した。設置農家へ、食味向上のための適正な中干し、穂肥、適期収穫等、重点的に技術支援を行った。 ・R2年度の作柄や次年度の栽培暦、栽培講習会について、JA及び各普及所と協議した。 	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会での星空舞の周知を図り、R2年度は78名と増加した。2月に栽培講習会を各営農センター単位で開催し栽培方法の徹底を図った。 ・全体的に適正に管理され順調に生育した。高温により登熟が早まった。JA鳥取西部の一等米比率は88%であったが、一部生産者が白未熟（乳白等）により2等となった。 ・JA営農センターと協力して生育調査を実施した。その結果から、谷間のほ場で日照不足の圃場は、栽培適地でないことが判明した。次年度は谷間での作付けはやめるように方針を決定した。また、JA鳥取西部の元肥一発肥料で後期葉色低下する傾向があることがわかり、次年度の試験課題とした。 ・平坦地と山間地の栽培暦を作成。刈取適期を出穂後積算1,000～1,200℃に早め、初数制御による品質確保のため中干開始時期を早めた。生産登録制は継続。
<p>大山町白ねぎ生産向上のための技術支援</p>	<p>白ねぎ生産者 87戸 重点対象者：水田モデル農家2戸、新規栽培者(3年目まで) 8戸</p>	<p>1 水田での効果的な夏越対策の技術支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田での排水対策の重要性の啓発と対策助言及び耕盤破碎の実施支援と効果確認を行った（排水技術の助言、パイロライナー施工の推進と効果確認）。 ・水田での地力づくりの推進を図った（次年度作に向けた堆肥投入と緑肥栽培の推進など） ・水田での夏期管理技術の向上を支援した（効果的な病害虫対策、新規薬剤情報、適応品種選定など）。 <p>2 散水利用による収量向上支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散水実施の啓発を行った（現地講 	<ul style="list-style-type: none"> ・排水対策の意識が高まり大規模農家を中心に自力の耕盤破碎（サブライなど）や委託のパイロライナー施工（3戸、4筆、100a）が行われた。 ・反収、3L+2L割合はヘアリーベッチ区、エンバク区が多かった（実証圃結果）。 ・予防防除中心の対応を進めているが、対応に個人差が見られる。 ・高温のため軟腐病、褐色腐敗病はや多かった。 ・夏期に土壌内の窒素を少なくするという意識が高まっている。 ・篤農家は、収量向上以外に土寄せ前の散水で根の切断軽減を図るなど、営農上必要な作業と認識された。

		<p>習会、白ねぎ情報、生産者大会、50周年記念大会等)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易スプリンクラーの展示圃によるPR(視察対応、収量向上・害虫抑制効果確認等) <p>3 白ねぎ新規栽培者への重点支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白ねぎの基礎技術の習得支援(白ねぎ栽培基礎講座) ・JA、生産部と連携した管理技術の習得支援を行った(グループ巡回、新規者講習会) ・優れた技術を有する農家の技術伝承を支援した(テキスト作成、現地講習会、実演会) ・個別農家の技術支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・白ねぎ農家の散水設備の保有率は39%(ブロッコリー-農家保有率75%)であり、さらなる設備導入指導の必要性が明らかとなった。 ・本年度は1年目3戸の新規栽培者があった(2年目は7戸)。 ・年間の作業の流れや栽培のポイントを理解できたとの声があった。 ・篤農家の実技(管理機の使い方)と講習で管理ポイントを学び大変参考になった。今後も圃場の視察や管理を学んできたいとの声がある。
「新甘泉」の生産安定・品質向上対策およびジョイント栽培導入の支援	<p>大山果実部新甘泉生産者：59名9.3ha(重点対象3名)</p> <p>ジョイント栽培導入者9名85a(重点対象2名)</p>	<p>1 新甘泉の安定生産と品質向上に係る支援</p> <p>(1) 花芽確保対策に係る整枝改善の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整枝改善の実態調査を実施した。特に改善が必要な3戸対して個別巡回で指導した。 ・整枝改善に必要な新梢管理とせん定について指導会を計2回開催し、大山果実部指導部情報で情報提供を行い、周知を図った。 ・農家1件を重点対象としてモデル樹を設置した。モデル樹は管理作業の伝達や指導会等に活用した。 <p>(2) 変形硬化対策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変形硬化の発生実態把握試験を行い、結果を指導部長に報告して今後の対策を検討した。 ・発生量の低減対策技術(満開40日後の粗摘果)について大山果実部指導部情報で情報提供を行った。 <p>2 ジョイント栽培の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョイント栽培の技術向上を目的とし、視察・講習会の開催・研究会の設立支援を行った。 ・新規取組農家の掘り起こしのため、講習会の周知やジョイント栽培のPRを大山果実部員に対して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3戸とも樹形改善が施され、花芽が多く着生する若い側枝の割合が増加した。 ・指導会2回で生産者延べ35名の参加があった。 ・新甘泉出荷実績は、215t(計画：240t)であった。交配条件の不良や軸折れなどの原因によって計画より減少した。 ・変形硬化の発生に一定の傾向は見られず、園芸試験場の結果等を参考に今後、対策を検討することとなった。 ・平均の摘果日は、満開後36日であり、おおむね実施されていた。 ・先進地である神奈川県への視察、栽培講習会、園巡回が開催され、述べ28名が参加した。 ・「大山ジョイント栽培研究会」が発足した。 ・ジョイント栽培面積が27a増加した(新規栽培者1戸、面積拡大1戸)。
畜産経営改善支援と後継者育成	<p>個別改善指導：4戸</p> <p>香取地区青申会：9戸</p>	<p>1 個別経営改善支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、定期的に経営 	<ul style="list-style-type: none"> ・4戸とも約定どおり償還を行い、う

	<p>中山肥育婦人部：4戸 HACCP農場支援：1戸</p>	<p>改善検討会を開催し、月毎の経営状況の確認と牛・豚の動態、自給飼料の刈取り状況、償還のための積立状況等を確認した。</p> <p>2 畜産後継者及びグループの活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簿記記帳会を開催した。 ・外部講師による消費税の軽減税率と経営力の向上を目的に研修会を開催した。 <p>3 農場HACCP取り組み支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に推進会議を開催し、農場HACCP運用の支援を行った。 ・内部検証を2回行い、農場HACCPの運用状況の状況を確認した。 <p>4 萩原地区の補助事業を活用した規模拡大に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労務関係と農場内の役割分担、雇用状況について検討会を開催した。 ・農場内の作業マニュアルの作成支援を行った。 ・従業員研修内容の提案、資金繰り計画等について助言を行った。 	<p>ち1戸が資金を完済した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「軽減税率について理解が深まった」、「わかりやすく勉強になった」、「今後の経営を考えるうえで参考になった」との声があった。 ・HACCPの運用をしたことにより、文書と現場の乖離を発見することができ、作業マニュアルの見直し、記録簿の記入の徹底につながった。 ・雇用の条件を整理し、従業員を募集し、5名が採用された。 ・マニュアルを役員内で情報共有し、作業を行いながら修正していくこととなった。 ・視察研修が4回開催された。
<p>新規就農者や親元就農者に対する育成確保への支援</p>	<p>・新規就農者12名(重点) ・就農予定者4名・ 親元就農者14名</p>	<p>1 就農前の対応</p> <p>(1) 新規就農者及親元就農者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大山果実部に対し園地継承についての検討を働きかけた。 ・白ねぎ部会運営委員会で確保についての検討を働きかけるとともに、親元就農促進支援交付金事業の情報を提供した。 <p>(2) 就農希望者・予定者への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し「就農相談会」を行い、就農に向けた準備や活用事業、スケジュールなどを確認した。 ・独立就農予定者へは、青年等就農計画作成、就農くらしアドバイザー設置事業活用等を支援した。 <p>(3) 親元就農促進支援交付金事業実施予定農家への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の実情に合わせて技術継承や経営移譲に向けた取り組みや家族経営協定並びに研修計画書の作成を支援した。 <p>2 新規就農者・親元就農者に対する育成支援(就農後)</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会の検討員を選任し、来年度検討会を開催することになった。 ・部会としては、新規就農の確保は進んでおり、来年度は育成を重視することになった。 ・就農相談数：9件 ・相談後は①独自就農、②親元就農、③継続保留の方向性が示された。 ・来年度独立就農予定者4名 ・相談数：4件 ・親元就農促進支援交付金事業承認2件

	<p>(1) 新規就農者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就農後5年までの新規就農者12名に対して、就農計画に基づいた営農が行えるよう個別巡回などで技術及び経営指導を実施した。 ・複式簿記初級講習会を実施した(9回)。 <p>(2) 農業士会と連携した支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業士が新規就農者等の圃場巡回と意見交換を行い、技術の助言や交流を促した(7/23)。 ・農業士と新規就農者との意見交換会及び就農6年目の優良事例の研修を行った(1/17)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者全員が営農を継続している。 ・親元(4名)と新規就農者(2名)の6名が簿記の基本知識とソリマチによるパソコン記帳を習得した。 ・参加者12名(新規就農者5名、指導農業士7名)で、新規就農者は農業士から苗木の新梢管理技術等を学んだ。 ・参加者17名(新規6名、農業士4名、関係機関6名)で開催され、優良事例者の就農後の取り組みを学ぶとともに意見交換を行った。
--	--	---

(4) 普及事業で、他の事業実施に対する援助指導状況

事業名	指導内容	成果又は結果
みんなでやらいや農業支援事業	認定農業者が経営発展・地域活性化のため、作成するプランについて技術・経営上の相談に対応してプラン作成を支援するとともに、目標達成に向けて技術等を指導した。	4件の農家プランが新規認定された。
農作業安全・農機具盗難防止対策事業	指導会、研修会や巡回時を利用して、農作業安全を促している。また、公用車に注意喚起シートを貼付して注意を呼びかけている。	農作業安全に対する意識の改善が進んでいる。
鳥取発！アグリスタート研修支援事業	先進農家での本格的な研修を実施するに当たり、(公財)鳥取県農業農村担い手育成機構や指導農家と連携して技術指導した。	大山町で2名が事業実施。1名(研修生：琴浦町、受入農家：大山町)は平成30年2月1日～令和1年9月30日まで研修し、令和1年10月1日に就農。1名(研修生、受入農家ともに大山町)は令和2年2月～令和3年1月まで事業実施予定。
有機・特別栽培農産物・GAP等総合支援事業	特別栽培農産物の認証に向けての生産技術や申請に係る指導・支援を行った。また、有機栽培の鳥取県認証のため、検査員としての現地調査業務を行った。さらに基礎GAPやJGAPの講習並びにJGAP認証取得のための支援を行った。	大山町で7件が特別栽培農産物に認定された。有機栽培の検査員として現地調査業務に関わった2件が有機農産物に認証された。JGAPでは3戸が認証取得された。
戦略的園芸品目(白ねぎ)総合対策事業	県全域で白ネギ栽培技術の高位平準化と反収向上を進めるため、新技術(緑肥、微生物入り資材、トンネル栽培)の実証や生産者へ情報提供を行った。	一部の緑肥区で、反収、3L+2L割合の向上を確認した。 微生物入り資材の効果は判然としなかった。 トンネル栽培は効果を確認中。 緑肥栽培については、生産部会から推進の要望がある。
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業	酪農950頭規模の新農場の建設に向けて、円滑な事業実施のための資金繰り計画、	10月に牛舎が完成し、計画どおり乳牛を導入した。

	労務管理および従業員研修に向けた助言を行った。	従業員も5名雇用し、従業員研修も行われた。
--	-------------------------	-----------------------

(5) 農業改良普及所が指導及び設置している展示圃（農業改良普及活動促進事業）の設置状況調べ

(令和2年3月31日現在)

事業名	展示目的	展示内容	実施場所	実施者名	事業費	事業量計画(実績)	展示期間	指導した期間	支払額	支払年月日
農業改良普及指導活動費	ヘアリーベッチのすきこみによる大豆増収効果の検証	堆肥に代わる地力向上対策として、ヘアリーベッチすき込みの増収効果を検証した。	大山町加茂	個人	10,000円	64a	R1 5/20 ～ R2 2/4	R1 5/20 ～ R2 2/4	10,000円	R2 2/18
	「輝太郎」の後期落果対策に有効な摘果方法の検討	生理落果を考慮し、着果量を確保するための摘果基準を検討する。	大山町名和	個人	10,000円	3樹	R1 5/21 ～ 10/25	R1 5/21 ～ 10/25	10,000円	R1 11/8
	メロンの急性萎凋症対策の実証	メロン作付前のカルビクリン錠剤による土壌消毒を実施し、土壌病害の軽減効果を検討する。	大山町塩津	個人	10,000円	6.6a	H31 4/8 ～ R1 9/10	H31 4/8 ～ R1 9/10	10,000円	R1 9/24
	ブロッコリー根こぶ病耐病性品種の現地適応性の検証	本病の耐病性新品種である「緑竜(BL-649)」及び「深碧(BL-650)」について、秋冬どり栽培による耐病性及び品種特性について検証する。	大山町赤坂	個人	10,000円	60a	R1 6/20 ～ R2 1/29	R1 6/20 ～ R2 1/29	10,000円	R2 2/19
	転炉スラグを用いたブロッコリー根こぶ病の被害軽減対策効果の検証	根こぶ病常発圃場に転炉スラグ資材を施用することで、土壌pHを上昇させ、耕種的に根こぶ病の発病を抑制する効果について検証した。	大山町押坪	個人	10,000円	26a	R1 6/20 ～ R1 12/5	R1 6/20 ～ R1 12/5	10,000円	R1 12/19
	ストック(アイアン系品種)のコート種子利用による	アイアン系品種のコート種子「鑑別名人」の鑑別日および鑑別回数が八重鑑別率に及ぼす影響	大山町田中	個人	10,000円	1.2a	R1 7/3 ～ R2 3/6	R1 7/3 ～ R2 3/6	10,000円	R2 3/19

八重鑑別率の向上	を現地実証し、出荷量の拡大を図る。								
ストックの無鑑別品種による八重率の向上	無鑑別品種の導入により出荷量の拡大を図りたいが、茎の硬さ等の品質及び開花揃い等の生育が不明である。そこで無鑑別品種の品質及び生育状況を現地実証する。	大山町加茂	個人	10,000円	1.25a	R1 7/3 ~ R2 2/4	R1 7/3 ~ R2 2/4	10,000円	R2 2/18
ストックの早生系品種(スプリンター系品種)の現地適応性の検証	極早生系品種の品質及び生育状況を現地実証する。	大山町田中	個人	10,000円	0.1a	R1 7/3 ~ R2 1/6	R1 7/3 ~ R2 1/6	10,000円	R2 1/20